

令和2年度(2020)  
指導の重点

ふるさと朝来の  
未来を担う人づくり

～地域が共に創り上げる教育の推進～



朝来市教育委員会

# 1 令和2年度「指導の重点」の構成

令和2年3月、本市の教育施策に関する基本的な計画である「第3期 朝来市教育振興基本計画（あさご夢・学びプラン）」を策定しました。

令和2年度「指導の重点」は「第3期あさご夢・学びプラン」の基本方針等に沿った構成とします。

第3期あさご夢・学びプラン			
基本方針	施策	施策の重点項目	
I ふるさと朝来を愛し、夢と自信をもち、可能性に挑戦する力を育成します。	1 「生きる力」の育成 ～確かな学力・豊かな心・健やかな体～	(1) 確かな学力	
		① 確かな学力の育成	
		② 国際理解を深める教育の推進	
		③ 理数教育の充実	
		④ 情報教育の推進	
		(2) 豊かな心	
		① 道徳教育の推進	
		② 体験教育の推進	
		(3) 健やかな体	
		① 体力・運動能力の向上	
② 食育の推進			
③ 健康教育・安全教育の推進			
II 地域総ぐるみで「地域と共にある学校園」を創造します。	2 朝来の未来につながる地域と連携したキャリア教育の推進	(4) キャリア教育の推進	
	3 さまざまな支援を必要としている子どもへの対応	(5) 特別支援教育の推進	
	4 いじめ・不登校への対応	(6) 家庭や地域と連携したいじめ等問題行動・不登校への対応	
	1 地域との協働による学校づくり	(7) 学校運営協議会制度の導入	
III これからの時代に対応するための教育環境基盤を整備し、教育成果を共有します。	2 ふるさと朝来に愛着と誇りをもつ教育の推進	(8) ふるさと意識を醸成する教育の推進	
	1 これからの時代に向けた持続可能な教育体制の整備	(9) 教職員としての資質・能力と実践的指導力の向上	
	(10) 協働体制の整備		
IV 朝来の未来を支える多様な力を培い、人材を育成します。	2 ICT機器等を活用した教育環境の整備	(11) ICT機器等の活用	
	3 授業のユニバーサルデザイン化の促進	(12) 授業のユニバーサルデザイン化の促進	
	1 地域を巻き込んだ学校連携の充実	(13) 学校・家庭・地域連携の推進	
	(14) 園・小・中連携		
	2 グローバル化社会に活躍できる人材の育成	(15) 多文化共生社会に対応した教育の推進	
	3 就学前教育・保育の充実	(16) 就学前教育・保育の充実	
	4 スポーツ・文化活動の振興と積極的な人材の育成	(17) 競技スポーツ・生涯スポーツ・地域スポーツ・障害者スポーツの推進	
		(18) 伝統と文化に関する教育の推進	
	V 誰にも保障される、充実した学びを支えるセーフティネットを構築します。	1 地域と連携した防災教育・安全教育の推進	(19) 防災教育の推進
		(20) 環境教育の推進	
(21) 安全・安心な教育環境整備の推進			
2 関係機関・地域と連携した子育て支援の充実		(23) 学童クラブ・子育て学習センター・子育て広場の運営	
3 家庭の経済状況や地理的条件への対応		(23) 家庭の教育力の向上	
		(24) 教育費負担軽減に向けた経済的支援	
4 共に学ぶインクルーシブ教育の推進		(25) インクルーシブ教育の推進	
VI 生涯学び続け、人生を豊かに生き抜く、活躍できる力を育成します。		1 生涯学び続ける力の獲得	(26) 生涯を通じた学びの充実
		(27) 社会教育施設の充実	
		2 人権教育の推進	(28) 人権教育・多文化共生社会の実現をめざす教育の推進
	3 文化財の保存及び活用	(29) 文化財の保存・活用・継承	

## 第3期 朝来市教育振興基本計画（あさご夢・学びプラン）推進のために

「第3期 あさご夢・学びプラン（朝来市教育振興基本計画）」（令和2年～6年度）の概要は以下のとおりです。

### 基本理念

ふるさと朝来の未来を担う人づくり

～地域が共に創り上げる教育の推進～

#### 【基本理念の趣旨】

従来から本市では、「こころ豊かな人づくり」を推進するため、市民の「参画と協働」により市民すべてが教育にかかわることをめざしてきました。第2期朝来市教育振興基本計画においても学校・家庭・地域が連携・協力し、特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業）等、市独自の特色ある教育を推進してきました。

この間、人口減少社会の到来による少子高齢化や価値観の変化、グローバル化の進展等、教育を取り巻く環境は変化しています。変化の激しい時代にあっても朝来の子どもたちが、自分たちの住む朝来市に誇りを持ち、こころ豊かに将来の夢や目標をもち創造性やチャレンジ精神等を培い、自らの個性と可能性を伸ばすことが重要です。その上で、自ら課題を見つけ、他者と協力しながらその解決に向けて行動する力や自立した人間としてたくましく生き抜く力等を育む教育の推進が重要です。

そこで、ふるさと朝来に愛着と誇りを持ち、将来、朝来の発展に貢献できる人づくりをめざし、ふるさと朝来の豊かな自然や伝統・文化、そこに暮らしている人々とのつながりを大切にし、次代を担う人材を育成したいと考えました。

#### 【副題の趣旨】

副題「地域が共に創り上げる教育の推進」は、子どもや学校園の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、地域が一体となって教育を進めることが不可欠と考えました。

#### （めざす人間像）

- ◇ 知・徳・体の調和がとれ、自立して生涯にわたって自らの夢や志の実現に努力する人
- ◇ ふるさと朝来を愛し、互いに支え合い協力しながら、明日の朝来を切り拓き、日本の未来を担う人
- ◇ ふるさと朝来の活性化に向けて、創造性やチャレンジ精神をもち、国際社会に貢献できる人

### (培う力)

- 一人一人が社会を構成する一員としての責任を自覚し、公共の精神や人権尊重の精神に基づき、勤労を重んずる態度を養い、よりよい社会づくりに向けて主体的に行動する力
- 生命を尊び、自然を大切にし、思いやりや寛容の心をもって多様な人々と共生する態度を養う等、地域の人々と手を携えながら、魅力的な朝来の創造に貢献する力
- 心身ともに健康で、幅広い知識と教養を身に付け、真理を追求する態度を養い、豊かな情操と道徳心を磨く力
- 柔軟な思考力に基づく判断力や創造力を養い、生涯にわたって個性や資質能力を磨き、志をもって自らの未来を切り拓く力
- 伝統と文化を尊重し、我が国やふるさと朝来を愛する心を養うとともに、異なる文化や価値観を理解し、国際社会の平和や発展に貢献する力

### 【各主体の責任と役割】

第3期プランでは以下のように、各主体の責任と役割を明記しています。

#### 教育委員会

ふるさと朝来の子どもたちの現状と課題を把握し、「ふるさと朝来の未来を担う人づくり」のため適切かつ実効性のある施策を実行します。学校園と地域の関係づくりを支援するとともに、開かれた教育課程の実現に向け、社会全体で学び合うふるさと朝来の教育を推進します。

#### 学校園、教育機関

子どもたちの人格の完成をめざし、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む教育を行います。教職員は、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めます。

また、学校及び社会教育施設等は、市民の生涯学習の充実に向け学びの機会及び情報の提供等社会教育の振興に努めます。

#### 家庭

子どもの教育について第一義的責任を有しており、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、道徳心や自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図ります。また、学びを積み重ねて成長しながら子どもと向き合うとともに、保護者同士の交流や協働を通じて、子どもの育ちを豊かにします。

#### 地域

学校園や家庭と連携・協力を惜しまず、ふるさと朝来の将来の担い手である子どもたちの成長に積極的にかかわりながら、自らの学びの充実にも努めます。

〔基本理念〕

ふるさと朝来の未来を担う人づくり

～ 地域が共に創り上げる教育の推進 ～

〔目指す人間像〕

- 知・徳・体の調和がとれ、自立して生涯にわたって自らの夢や志の実現に努力する人
- ふるさと朝来を愛し、互いに支え合い協力しながら、明日の朝来を切り拓き、日本の未来を担う人
- ふるさと朝来の活性化に向けて、創造性やチャレンジ精神を持ち、国際社会に貢献できる人

自立

自立した人間を目指して自ら学んでいく

協働

課題を協働によって創造的に解決していく

〔方針Ⅰ〕

ふるさと朝来を愛し、夢と自信をもち、可能性に挑戦する力を育成します。

「生きる力」の育成

キャリア教育の推進

支援を必要とする子どもへの対応

いじめ・不登校への対応

〔方針Ⅱ〕

地域総ぐるみで「地域とともにある学校園」を創造します。

地域との協働による学校づくり

愛着と誇りをもつ教育の推進

持続可能な教育体制の整備

ICT機器等の教育環境の整備

授業のユニバーサルデザイン化の促進

〔方針Ⅲ〕

これからの時代に対応するための教育環境基盤を整備し、教育成果を共有します。

〔方針Ⅳ〕

朝来の未来を支える多様な力を培い、人材を育成します。

地域を巻き込んだ学校連携の充実

グローバル化社会に活躍できる人材の育成

就学前教育・保育の充実

スポーツ・文化活動の振興と人材の育成

〔方針Ⅴ〕

誰にも保障される、充実した学びを支えるセーフティネットを構築します。

地域と連携した防災教育・安全教育の推進

関係機関・地域と連携した子育て支援の充実

家庭の経済状況や地理的条件への対応

共に学ぶインクルーシブ教育の推進

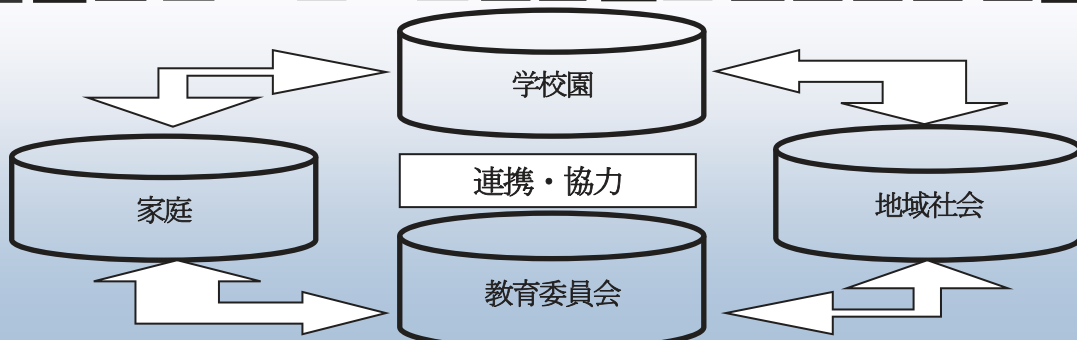
〔方針Ⅵ〕

生涯学び続け、人生を豊かに生き抜く、活躍できる力を育成します。

生涯学び続ける力の獲得

人権教育の推進

文化財の保存及び活用



令和2年度の指導の重点は、この第3期プランの基本方針に沿った構成としています。

### 基本方針 I

ふるさと朝来を愛し、夢と自信をもち、可能性に挑戦する力を育成します。

## ○「生きる力」の育成～確かな学力・豊かな心・健やかな心～

### 1 確かな学力

#### (1) 確かな学力の育成

- ①校内研修の充実を図るとともに、小小連携推進事業や中学校教科別研究会における研究授業等を通して授業評価、授業改善へつなげるなど、教職員の授業力向上に努めます。
- ②特別支援教育の視点を生かした授業のユニバーサルデザイン化の推進により、どの子にもわかる授業を行うとともに、習得、活用につながる指導方法等を研究します。
- ③児童生徒の姿や地域の実情等を踏まえ、各校の学校教育目標を実現するため、カリキュラム・マネジメントの在り方について研究します。
- ④全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に取り組みます。
- ⑤地域人材を活用し、学力向上をめざした「あさご学びがんばりタイム」に取り組みます。
- ⑥兵庫型の新学習システムを有効に活用しながら、児童生徒一人一人の個性や能力の伸張と基礎学力の向上をめざします。

家庭で、自分で計画して勉強している児童生徒の割合			
	H29年度	H30年度	R1年度
小学生(市)	73.4%	76.1%	79.5%
小学生(国)	64.5%	67.6%	71.5%
中学生(市)	46.2%	42.2%	41.8%
中学生(国)	51.5%	51.5%	50.4%

全国学力・学習状況調査結果



#### (2) 国際理解を深める教育の推進

- ①国際社会の一員として様々な分野で活躍できる人材の育成を図るとともに、中核教員による授業公開等を通して研究内容を市内全校に広めていきます。
- ②外国語指導助手（ALT）や外国人と連携し、外国語を用いたふれあいや対話を充実し、異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。
- ③海外の学校や国内の外国人学校との交流などの国際交流事業を通して、異文化理解を推進するとともに、外国語を用いて朝来市を発信できる子どもの育成を図ります。
- ④グローバル化に対応した英語技能テストの受検を進め、その分析をいかしてさらなる語学力向上をめざします。

#### (3) 理数教育の充実

- ①理数教育の魅力ある授業づくりの推進を図ります。県事業である「サイエンス・トライやる事業」の推進を通して、専門性の高い教員を講師として、また、企業研究者等の専

門家を学校へ派遣し、観察、実験の指導力向上を図るなど、教員の指導力向上を図り、児童生徒の理科への興味・関心を高めます。

②科学に興味・関心が高い生徒の意欲をさらに伸ばすために、科学技術や理科、数学の知識・技能を競う「数学・理科甲子園ジュニア」等のコンテストやコンクールに積極的な参加を図ります。

#### (4) 情報教育の推進

①児童生徒がICTを活用する学習活動を通して、「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」の3つの観点を相互に関連させる情報活用能力の育成を図ります。

②教職員のICT活用指導力及び指導力の向上を図るための研修会等を開催します。

③発達の段階に応じた情報モラルの育成、プログラミング教育による論理的思考力の育成、ICT機器等を活用した授業改善に取り組みます。

## 2 豊かな心

### (1) 道徳教育の推進

①学校教育全体を通して道徳教育を推進するため、学習指導要領を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりを進めます。

②「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育が展開できるように、道徳教育実践研修を実施し、道徳教育推進教師を中心に家庭及び地域との連携を図りながら児童生徒の道徳性を高めていきます。

「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合			
	H29年度	H30年度	R1年度
小学生(市)	85.2%	91.7%	82.7%
小学生(国)	77.9%	84.0%	81.2%
中学生(市)	71.5%	81.2%	72.7%
中学生(国)	70.7%	78.8%	74.1%

全国学力・学習状況調査結果

「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合			
	H29年度	H30年度	R1年度
小学生(市)	86.8%	89.5%	82.3%
小学生(国)	85.9%	85.1%	83.8%
中学生(市)	71.7%	68.4%	67.4%
中学生(国)	70.5%	72.4%	70.5%

全国学力・学習状況調査結果

### (2) 体験教育の推進

①地域教材を活用した「特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業）」により、地域に住む人々あるいは自然や歴史的な遺産等に触れる体験を通して、自尊感情や郷土愛の向上に努めます。

②地域に活かす「トライやる」アクション等、人や社会とかかわる活動を通して、公共の精神や協調性を育成し、思いやりの心や責任感を持って積極的に行動する力を育みます。

③朝来市学校音楽祭、国際音楽祭をはじめ、県の事業である「わくわくオーケストラ教室」、「プロから学ぶ創造力育成事業」への参加等、芸術文化に触れる感動体験を通して、豊かな情操を育みます。

### 3 健やかな体

#### (1) 体力・運動能力の向上

- ①体力向上推進委員会を開催し、朝来市の子どもたちの体力・運動能力の分析を行います。その結果を学校における体力向上に活用します。
- ②「運動プログラム」等を活用したり、「週90分以上の運動」を目標にしたりするなど健やかな体の育成を推進します。
- ③県事業である「体力アップひょうご」サポート事業の活用を推進します。各小学校のニーズに応じて「体力アップサポーター」を派遣し、学校教育活動における体育・スポーツ活動を充実させ、児童生徒の運動への興味・関心を高めるとともに、体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、自ら進んで「健やかな体」を育めるよう、運動習慣の定着を図ります。



体育の授業は楽しいと答えた児童生徒の割合			
	H29年度	H30年度	R1年度
小学生(市)	96.4%	91.8%	95.4%
小学生(国)	92.7%	89.7%	93.0%
中学生(市)	88.4%	82.0%	90.7%
中学生(国)	85.7%	83.8%	86.5%

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

#### (2) 食育の推進

- ①「学校における食育実践プログラム（改訂版）」や「食育ハンドブック」「食物アレルギー対応マニュアル」等を活用するとともに、栄養教諭をはじめ全ての教職員が連携し、教育活動全体を通じて食育を推進します。
- ②「学校給食における食物アレルギーマニュアル」に基づく救急対応にかかわる校内体制を確立します。
- ③学校給食における地元食材の活用促進を図り、家庭や地域と連携・協力しながら食に関する体験活動の推進を図ります。
- ④家庭や地域を対象に給食センター見学会を開催し、家庭での食の安全安心についての意識を高めます。

#### (3) 健康教育・安全教育の推進

- ①医療機関等の関係機関と協力しながら、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための取組を進めます。
- ②安全で安心して生活できるように、防犯、交通安全教室や喫煙、薬物乱用防止等の健康に関する教室や講習会などの開催を積極的に推進します。
- ③健康福祉事務所や民間企業などによる出前授業活動などを積極的に活用します。
- ④通学路や学校園の学習環境の定期的な安全点検を行います。



毎日、朝ごはんを食べている児童生徒の割合			
	H29年度	H30年度	R1年度
小学生(市)	97.2%	95.8%	95.7%
小学生(国)	95.4%	94.5%	95.3%
中学生(市)	96.5%	93.6%	89.9%
中学生(国)	93.2%	91.9%	93.1%

全国学力・学習状況調査結果



## ○朝来の未来につながる地域と連携したキャリア教育の推進

### 4 キャリア教育の推進

- (1) 小・中学校においては、キャリア教育の全体計画、年間指導計画に基づき、キャリアノートを活用するなど特別活動を要として、校内の組織的、系統的な推進体制をより整備します。
- (2) 中学校においては、主体的な進路選択の支援に向けた校内の組織的、系統的な推進体制の整備を進めます。
- (3) 発達段階に応じたキャリア教育を地域と協働して推進します。

## ○さまざまな支援を必要としている子どもへの対応

### 5 特別支援教育の推進

- (1) 特別支援教育コーディネーターや通級指導教室担当者を中心として、特別支援学校や関係機関との連携を十分に図り、特別支援教育の充実と教職員の指導力向上に努めます。
- (2) 通常学級における「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」作成をより推進するなど、個別の教育的ニーズを把握し、きめ細かな教育的支援の実現に努めます。
- (3) 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築につなげるため、特別支援教育を着実に進めます。
- (4) 朝来市こども教育センターや県立和田山特別支援学校と連携し、積極的な活用を図り教職員の専門性の向上に努めます。
- (5) 交流及び共同学習の推進に努めます。

## ○いじめ・不登校への対応

### 6 家庭や地域と連携したいじめ等問題行動・不登校への対応

- (1) 児童生徒の内面理解を図る校内教育相談体制等を充実し、いじめ対応マニュアルを活用するなど、いじめ・不登校、問題行動の未然防止、早期発見及び早期対応を推進します。
- (2) 学校組織・分掌等のネットワーク化を図るとともに、関係機関との行動連携を推進し、組織的生徒指導の充実を図ります。
- (3) 「県立但馬やまびこの郷」との連携を密にし、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を行います。
- (4) いじめの積極的な認知を図るとともに、早期対応を図ります。
- (5) チーム学校園としての組織力の強化を図り、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（中学校区配置）の積極的な活用を推進します。

(6) 適応指導教室の設置に向けての調査等を進め、不登校児童生徒の居場所づくりを積極的に行います。

## 基本方針Ⅱ

地域総ぐるみで、「地域と共にある学校園」を創造します。

### ○地域との協働による学校づくり

#### 7 学校運営協議会制度の導入

- (1) 学校・家庭・地域の連携・協働により、地域全体で子どもたちを見守り、育てる取組を推進します。
- (2) 全小・中学校に学校運営協議会制度の導入を図ります。
- (3) 次代を担う子どもに必要な資質を育むため、地域と学校が協働して、特色ある学校づくりを進めます
- (4) 社会に開かれた学校教育及び地域の教育力を活用した学校経営をめざします。

### ○ふるさと朝来に愛着と誇りをもつ教育の推進

#### 8 ふるさと意識を醸成する教育の推進

- (1) 特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業）や地域の行事への参加等、人々とのふれあいを通じて地域の自然・産業・歴史・伝統・文化等についての理解を深める取組を推進します。
- (2) 市内の図書館や資料館等に収蔵された資料の活用や体験会等を通して、ふるさと朝来の魅力を再認識する取組を推進します。

今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合			
	H29年度	H30年度	R1年度
小学生(市)	86.1%	87.0%	88.1%
小学生(国)	62.6%	62.7%	68.0%
中学生(市)	63.9%	55.0%	65.2%
中学生(国)	42.1%	45.6%	50.6%

全国学力・学習状況調査結果



## 基本方針Ⅲ

これからの時代に対応するための教育環境基盤を整備し、教育成果を共有します。

### ○これからの時代に向けた持続可能な教育体制の整備

#### 9 教職員としての資質・能力と実践的指導力の向上

- (1) 教育公務員としての職責と自己の崇高な使命を自覚し、法令の遵守はもとより高い倫理観や公正中立な立場の保持、士気の高揚及び職場の活性化に努めます。

- (2) 「教育の専門家」として自己研鑽及び各種研修への参加を促すとともに、校内研修等でその還流を図り組織全体の専門性を高めるよう努めます。
- (3) 教員・管理職資質向上指標」や「教職員研修計画」等を積極的に活用し、指標を踏まえた体系的・組織的な研修を推進します。
- (4) 教職員の指導力や専門性を高めるため、朝来市教育研修所事業の充実に努めます。
- (5) メンタルヘルス研修会等の開催や組織マネジメントにより、教職員の望ましいワークライフバランスを保持し教職員の資質向上に努めます。

## 10 協働体制の整備

- (1) チーム学校園という認識の下、園児児童生徒の変化を敏感に察知し、情報交換や連携を密にしながら多面的な理解に基づき組織的に指導します。
- (2) 学校園評価、学校運営協議会制度の活用、家庭や地域との連携、関係機関との連携等により学校運営の改善を図るとともに、理解と信頼を得、それらの支援を得て、学校教育活動を充実させます。
- (3) 子どもたちと向き合う時間を確保するために学校業務改善に取り組むとともに、学校業務の効率化、教育の質的改善に資する校務支援システムを運用します。
- (4) 教職員一人一人の人権意識を高め、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントのない職場環境づくりに努めるとともに、園児児童生徒の安全を守る体制の充実、危機管理機能を高めます。
- (5) 対話を重視した指導の実践や「ノー部活デー」の完全実施とともに、部活動指導員配置促進を研究します。

## ○ICT機器等を活用した教育環境の整備

### 11 ICT機器等の活用

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえ、学習活動を支えるICT機器等を効果的に活用した授業のあり方を研究し、授業改善に努めます。
- (2) すべての教職員が授業で効果的にICT機器等を活用できるよう研修や研究を実施し、教職員のICT活用スキルの向上を図ります。
- (3) 時間割を工夫し、1人1台使用のタブレットを活用した授業を推進し、すべての児童生徒が個に応じた学びができる環境の実現を図ります。
- (4) 校務のICT化による教職員の業務負担軽減及び教育の質の向上を図ります。

## ○授業のユニバーサルデザイン化の促進

### 12 授業のユニバーサルデザイン化の促進

- (1) 特別支援教育の視点をいかした授業のユニバーサルデザイン化の促進により、すべての児童生徒に分かる授業を行うとともに、習得、活用につながる指導方法等を研究します。
- (2) これまでの取組の課題や成果を検証し、小・中連携をいかした研究部会において、深い学びにつながる授業づくり、指導方法の研究を行います。
- (3) 朝来市こども教育支援センターと協働し、研究を進めます。



算数・数学の授業の内容は分かると答えた児童生徒の割合			
	H29年度	H30年度	R1年度
小学生(市)	81.7%	86.2%	84.3%
小学生(国)	80.8%	83.4%	83.5%
中学生(市)	54.6%	62.8%	60.8%
中学生(国)	69.4%	71.0%	73.9%

全国学力・学力状況調査結果

#### 基本方針Ⅳ

朝来の未来を支える多様な力を培い、人材を育成します。

### ○地域を巻き込んだ学校連携の充実

#### 1.3 学校・家庭や地域連携の推進

- (1) 園児児童生徒が安心して生き生きとした生活を送ることができるよう、基本的な生活・学習習慣の確立や家庭教育の大切さ等に関する情報を広報「朝来」等で提供したり、生涯学習講演会を開催したりするなど、家庭での取組の促進を図ります。
- (2) 地域社会とのさまざまな関わりを通じて、子どもたちが安心して活動できる居場所づくりを進めます。
- (3) 学校園便りやホームページ等により、学校園の情報発信を積極的に行い、学校園に対する理解を促すとともに、地域全体で子育てを推進する気運を高めます。
- (4) 外国人児童生徒に対する日本語教育の推進を図ります。

#### 1.4 園・小・中連携

- (1) 幼児期の教育と児童期の教育の円滑な接続を進めるには、子どもの「発達」や「学び」に着目し、「生きる力」の育成のための教育課程・教育活動の連続性、一貫性を図ることに努めます。
- (2) 各学校に連携担当教職員を配置し、情報交換・情報共有を行うとともに、教職員の授業参観等の研修を実施します。
- (3) 「園・小の円滑な接続」に向けた生活科の充実を図ります。

### ○グローバル化社会に活躍できる人材の育成

#### 1.5 多文化共生社会に対応した教育の推進

- (1) 多文化共生サポーター等の活用により、外国人園児児童生徒の日本語指導等を推進します。
- (2) さまざまな国際交流事業の機会をとらえ、異文化に触れるとともに違いを認め合い共に生きる社会の担い手としての意識を高め、グローバル化社会で豊かに共生する資質能力を育成します。

## ○就学前教育・保育の充実

### 16 就学前教育・保育の充実

- (1) 地域の状況や園の規模、教職員の構成等の実態を考慮し、幼児の発達の過程を見通した創意ある教育課程を編成・実施します。
- (2) 園と小学校の教職員による連携を強化し、円滑な接続を行います。
- (3) 「すくすく相談」の充実を図り、特別支援教育の視点に立った教育・保育の向上に取り組みます。

## ○スポーツ・文化活動の振興と積極的な人材の育成

### 17 競技スポーツ・生涯スポーツ・地域スポーツ・障害者スポーツの推進

- (1) 「朝来市スポーツ推進計画」に基づき、市民の体力向上と健康づくりのため、子どもから高齢者まで、気軽に楽しみながら継続しやすい体操やウォーキング、レクリエーションとして体を使う遊びなど、幅広い世代や趣向、身体状況に応じて取り組める生涯スポーツの普及推進とスポーツを通して地域の活性化を図ります。
- (2) 各種スポーツ大会や教室を開催し、市民が意欲的にスポーツを行い、楽しさや感動を分かち合う機会を提供します。また、スポレク大会や体力測定会を実施し、効果検証の機会をつくります。
- (3) 地域において、市民がスポーツに気軽に取り組めるようスポーツクラブ21の支援や活動を支えるスポーツ指導者、ボランティアの育成を図っていきます。
- (4) 各種スポーツ団体等の育成・支援に努め、身体能力や競技力の向上を図るとともに、トップレベルのスポーツに触れる機会を創出し、市民のスポーツへの興味や関心を高め、活動意欲の向上を図ります。
- (5) 地域にとって身近なスポーツ活動の場である学校体育施設の有効活用を図ります。また、安全で利用しやすいスポーツ施設の整備や効果的なスポーツ情報の提供を行いスポーツに親しむ環境の整備・充実を図ります。

健康に運動が大切であると答えた児童生徒の割合			
	H29年度	H30年度	R1年度
小学生(市)	98.4%	92.9%	97.2%
小学生(国)	95.9%	90.7%	93.5%
中学生(市)	92.5%	85.0%	95.7%
中学生(国)	95.6%	88.6%	91.7%

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果



### 18 伝統と文化に関する教育の推進

- (1) 伝統文化・芸能の体験や地域に根ざした行事への参加等を通して、郷土の伝統と文化に親しみ、地域の一員としての自覚を高め、ふるさと教育を推進します。
- (2) 歴史文化遺産の文化財登録や指定、埋蔵文化財センターや資料館が提供する出前講座を活用し、歴史文化に根ざした地域活性化に取り組みます。

## 基本方針V

誰にも保障される、充実した学びを支えるセーフティネットを構築します。

### ○地域と連携した防災教育・安全教育の推進

#### 19 防災教育の推進

- (1) さまざまな災害や犯罪の脅威から子どもの安全を守るため、災害対応マニュアルや防犯マニュアル、学校が避難所になった時の避難所運営マニュアルを常に見直し、防災・防犯及び学校の早期再開に対する備えを強化します。
- (2) “みんなで守ろう地域の命” 朝来市が全市的に行う一斉避難訓練に積極的に参加するとともに、地域の災害特性や台風被害等を踏まえ、保護者や地域住民や専門機関と連携した学校防災体制の強化を図ります。
- (3) 阪神・淡路大震災や東日本大震災等を踏まえ、震災から得た教訓を語り継ぎ、生命に対する畏敬の念や助け合い、人間としての在り方生き方を児童生徒に考えさせる「1.17追悼集会」等に取り組みます。

#### 20 環境教育の推進

- (1) 「環境体験事業」や「自然学校推進事業」の推進や、「出前授業」の活用により、環境に関心を持ち理解を深め、命あるものとふれあう中での感動を通して生命の大切さや生命の連鎖を実感させ、自然に対する豊かな感性や命を尊ぶ心を育てていきます。
- (2) 持続可能な開発目標（SDGs）を念頭に、環境適合型社会の実現に向けて主体的に行動する力の育成を図ります。

#### 21 安全・安心な教育環境整備の推進

- (1) 学校園の施設整備及び施設の安全確保を計画的に進めます。また、学校施設の屋内運動場は、災害時に避難所として重要な役割を担うことから、天井材等非構造部材への対策を行うなど、安全で安心な教育環境の整備を図ります。
- (2) 教室のエアコン設置や照明のLED化等、安全で安心して学ぶことができる教育環境の整備を推進します。
- (3) 地域住民の協力により、登下校時の子どもの見守り活動の推進を図るとともに、警察・道路管理者等との連携のもと、通学路の安全点検・改修を推進し、子どもの安全確保の徹底を図ります。

### ○関係機関・地域と連携した子育て支援の充実

#### 22 学童クラブ・子育て学習センター・子育て広場の運営

- (1) 地域自治協議会をはじめ地域資源の活用を図り、地域での子育て支援を充実させます。
- (2) 在宅児の保護者に対して、子育ての不安等を解消しながら子育て支援及び子どもの健全な成長を図ります。
- (3) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ・学童クラブ）、地域子育て支援拠点事業の充実を図ります。

## ○家庭の経済状況や地理的条件への対応

### 23 家庭の教育力の向上

- (1) 園便りやホームページ等を通じて、自立を促す家庭教育の重要性を発信します。
- (2) 地域の支援力を活用し、保護者や地域の方々と連携し、地域の中で信頼される園づくりを推進します。
- (3) 各学校やスクールソーシャルワーカー、関係機関や相談機関による、経済状況に応じた支援等の周知・相談活動を行います。



### 24 教育費負担軽減に向けた経済的支援

- (1) 経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒または入学予定者の保護者に対して就学援助を行います。
- (2) 保護者への子育て支援が行き届くよう環境整備や保育料の軽減措置を継続するとともに、学童クラブの充実を図ります。
- (3) わくわくオーケストラ教室のバス代、中学生の英語技能テスト受検など教育活動における補助を行います。

## ○共に学ぶインクルーシブ教育の推進

### 25 インクルーシブ教育の推進

- (1) 「共生する社会の実現」を目指すインクルーシブ教育は、「障害の有無を問わず、できる限り誰もが同じ場で共に学ぶことをめざしつつ、子どもの実態に即し個別の教育的ニーズにも対応できるしくみ」であることを踏まえ、「共に学べる多様な場づくり」や「基礎的環境整備」、「多様性を生かす授業」の実現に向けた研修に努めます。
- (2) 個々の多様性を受け入れ、尊重し、支え合う豊かな心の育成を図りつつ、共により良く生きていこうという関わりを大切にする学校・学級経営を目指します。
- (3) 医療、保健、福祉、労働等の関係機関と連携し、それらの様々な機能を活用して、切れ目ない支援体制を構築し、多様なニーズに対応できる教育の充実を図ります。

#### 基本方針Ⅵ

生涯学び続け、人生を豊かに生き抜く、活躍できる力を育成します。

## ○生涯学び続ける力の獲得

### 26 生涯を通じた学びの充実

- (1) 市民のニーズに対応した生涯学習講座や教室の開講など生涯学習機会の提供を図り、学習意欲の向上と学習成果を活かした活力ある地域づくりを推進します。
- (2) 生涯学習推進員、社会教育委員など関係機関や社会教育団体との連携や活動の活発化を図り、市民が自主的に学び続ける生涯学習社会の構築を進めます。
- (3) 朝来市の歴史や自然、芸術、文化に触れる機会を充実します。また、朝来市少年少女オーケストラなどの活動を通じ、子どもたちの音楽に対する感性を磨くとともに、青少年の健

全育成を図ります。

- (4) 青少年問題協議会を開催し、関係機関・団体との連携のもと青少年健全育成に取り組みます。
- (5) 女性や子ども、障害のある人、高齢者、外国の人などへの人権にかかわる課題解決に向け、豊かな人権感覚、実践的な態度を培い人権文化の定着を図ります。
- (6) 豊かな人権感覚を養うとともに、命と人権を大切にする共に生きる心豊かな社会の実現をめざします。

## 27 社会教育施設の充実

- (1) 市民が生涯学習センター、図書館等の社会教育施設を利用できるよう、多様な学習ニーズに対応した学びのプログラムの提供や施設の充実を図ります。
- (2) コミュニティ・スクールを地域の拠点とし、学校施設を地域活動や地域の学びの場として活用を図ります。
- (3) 市内図書館と各学校との連携を深め、読書に親しめる環境整備に努めます。

### ○人権教育の推進

#### 28 人権教育・多文化共生社会の実現をめざす教育の推進

- (1) 人権教育目標の実現のため、人権教育の全体計画及び年間計画の見直しを図り、各教科や総合的な学習の時間など、教育活動全体を通じて取り組むとともに、校内における推進体制を整え定期的に点検・評価を行います。
- (2) 個別的な人権課題について、発達段階に応じて年間計画に位置付けるとともに、県の資料「ほほえみ」「きらめき」「HUMAN RIGHTS」を積極的に活用した授業を実施します。
- (3) 日本語指導が必要な外国人児童生徒等を支援するため、母国語の話せる就学支援員の配置と、教職員研修の実施等、多様な文化的背景をもつ人々と共生する取組を推進します。

### ○文化財の保存及び活用

#### 29 文化財の保護・活用・継承

- (1) 市内の歴史文化遺産の調査を行い、貴重な歴史文化を保護・継承していくため、文化財への指定や登録を進めます。また、文化財に対する市民の保存・活用意識を高めるため普及啓発に努めます。
- (2) 茶すり山古墳や池田古墳など古代の王墓群、竹田城跡に代表される中世の城郭、近世・近代における生野鉾山（銀山）遺跡など地域の文化財群を総合的に活用し、情報発信することにより地域の活性化を図ります。
- (3) 埋蔵文化財センター、歴史民俗資料館などを中心に、資料展示やふるさと学習の機会を提供します。また、郷土の歴史研究や国内外との歴史文化交流を推進します。
- (4) 郷土芸能や伝統文化の保存継承のため、後継者の育成や活動を支援します。







# 令和2年度 朝来市教育事業

ふるさと朝来の未来を担う人づくり  
～ 地域が共に創り上げる教育の推進 ～

## 確かな学力

- 基礎的・基本的な知識及び技能の定着と「活用力」の向上
- 思考力、判断力、表現力等の育成
- 将来の目標を持ち、主体的に学習に取り組む態度の育成

### 教職員の資質・能力と実践的指導力の向上

・「チーム学校園」の認識の下、教育公務員としての職務と崇高な使命を自覚し、絶えず研究と修養に努め、自らの資質と実践的指導力の向上を図ります。

### 校種間等連携事業の推進

・就学前から系統的・横断的な教育をめざします。

### 学力向上をめざす授業改善

・全国学力・学習状況調査や朝来市学習定着度調査の結果を生かすとともに、授業でICT環境の活用、特別支援教育の視点を生かした授業のユニバーサル化等を進めながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現により、学力の向上を図ります。

### 外国語教育の推進

・小学校外国語教育教科化に伴い、4技能（聞く・話す・読む・書く）の向上を図ることを目的に、児童生徒の英語能力の向上を図ります。

### 情報活用能力の育成

・ICT活用スキル、プログラミング教育、情報モラルに関する指導を指導計画に位置づけ、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。

## 豊かな心

- 生命を尊び、他を思いやる心の育成
- 感動あふれる体験活動の推進
- 国際性に富み、情報化社会で生きる力の育成

### 心に響く体験活動の推進

・ふるさとの自然や文化・人々と触れ合う体験活動を通して、ふるさとを愛する心を醸成します。

### 道徳教育の推進

・「特別の教科 道徳」を通して規範意識や思いやりの心など道徳性を養うとともに、いじめゼロをめざして組織的な取組を推進します。

## 健やかな体

- 体力づくりプログラムの推進
- 地元の食材を生かした食育推進事業の展開

### 体力向上に向けた事業の推進

・基礎的な体力の向上を図り、粘り強く挑戦する気力・体力の向上をめざします。

### 地元の食文化の利活用の推進

・家庭や地域と連携し、健康な体づくりをめざします。

特色ある学校づくり事業(あなごドリムアップ事業)の推進

授業のユニバーサルデザイン化の推進

## キャリア教育の推進

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

第2期		令和2年度		指導の重点			
基本方針	施策	施策の重点項目	実践目標	実践項目	目		
I ふるさと朝来を愛し、夢と自信をもち、可能性を挑戦する力を育成します。	1 「生きる力」の育成 ～確かな学力・豊かな心・健やかな体～	① 確かな学力の育成 ① 確かな学力の育成	児童生徒のつまずきの解消や継続性を重視した指導の充実 「主体的・対話的で深い学び」の実施に向けた授業研究の実施	授業評価・授業改善「主体的・対話的で深い学び」の研究・学習タイム・新学習システムへの推進 各教科等における言語活動の充実、読書活動の推進、学力向上推進委員会の開催 授業のUD化(朝来中・セテラの促進)	児童生徒のつまずきの解消や継続性を重視した指導の充実 「主体的・対話的で深い学び」の実施に向けた授業研究の実施		
			② 国際理解を深める教育の推進	英語をはじめとする外国語教育及び国際理解教育の推進 英語によるコミュニケーション能力の育成		外国語教育支援事業・国際交流活動、中核教員による研修会及び授業公開 外国語指導助手(AIT)等とのふれあいや対話の機会を充実 英語技能テストの受検支援(中学校第2・3学年) 指導用映像資料を活用した校内研修の充実 大学教授による専門的指導(全小学校)	
			③ 理数教育の充実	魅力ある授業づくりによる理科・算数・数学好きの裾野の拡大 科学的に探求するための資質・能力の育成		「数学・理科甲子園ジュニア」、外部人材の活用、観察・実験の指導力向上 ICT活用指導力及び情報モラルの向上のための研修、情報活用の基礎基本の定着 家庭等と連携した情報モラルの育成のための研修 ICT支援員の2名配置、教育用パソコン導入に係る教員の対応力強化(ブログラミング教員指導者養成研修)	
			④ 情報教育の推進	小学校段階におけるプログラミング的思考を育成する学習活動 情報活用能力の育成 発達段階に応じた情報教育の推進 情報モラル・セキュリティ意識の醸成 ICTを活用した分かりやすいく深まる授業の実現		道徳教育全体計画及び別業の作成・推進 体験活動を通じた道徳性の育成 道徳科への実践的指導力の向上及び授業の充実 兵庫版道徳教育副読本等の活用 地域人材の活用	
II 地域総ぐるみで「地域と共にある学校園」	2 朝来の未来につながる地域と連携したキャリア教育の推進	② 豊かな心 ① 道徳教育の推進	達成感や自己有用感を高めるための学習活動の工夫と事前・事後指導の充実 「心の教育」の充実に向けた体験活動の推進 地域活動に参画する態度の育成	特色ある学校づくり事業(あさごドリムアップ事業)、短休体験、ボランティア活動、地域に活かす「トライアングル・アクション」、わくわくオーケストラ教室、学校音楽祭、プロから学ぶ創造力育成事業、自然学校、環境体験事業「トライアングル・ウィーク」	地域人材を活用した授業公開や、食育より等による家庭への情報提供 食に関する年間指導計画の見直し(食育実践プログラム、食育ハンドブック、食物アレルギー対応マ 学校給食の活用)		
			② 体徳教育の推進	道徳教育全体計画及び別業の作成・推進 体験活動を通じた道徳性の育成 道徳科への実践的指導力の向上及び授業の充実 兵庫版道徳教育副読本等の活用 地域人材の活用		健康相談の充実 安全に関する教室・講習会の実施、出前授業等の講習会の開催 学校給食におけるアレルギー対応メニューの活用 地域と連携した学校保健活動の推進と学校安全体制の構築	
			③ 健やかな体 ① 体力・運動能力の向上	生涯を通じて運動ができる資質や能力の育成 体力・運動能力の向上を図る態度の確保 楽しく体を動かす時間の確保		「新体力測定」(市全児童生徒対象)の実施と判定 「体力アップようご」サポート事業の活用、学校体育指導の工夫・改善、(ジュニアスポーツ講習会の開催) 「3分間でわかる小学校体育授業動画」(兵庫県)等、効果的な指導法の動画を活用した体力・運動能力の向上	地域人材を活用した授業公開や、食育より等による家庭への情報提供 食に関する年間指導計画の見直し(食育実践プログラム、食育ハンドブック、食物アレルギー対応マ 学校給食の活用)
			④ 健康教育・安全教育の推進	生涯にわたる健康の基礎を培う アレルギー疾患への対応 安全に対する意識の高揚、発達段階に応じた性教育の充実 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の充実		キャリア教育年間計画の見直し、推進体制の整備 キャリアアワードやキャリア教育指導資料等を積極的に活用 事前・事後指導の充実 【研究推進校】『9年間を通してキャリア教育充実事業』(和田山中学校・大蔵小学校) 予定	管理職対象特別支援教育研修の実施 通常学級に在籍する支援を要する児童生徒の「個別的教育支援計画」の活用による 「個別の指導計画」の活用による 特別支援学級担任対象研修の実施 特別支援教育コーディネーター対象研修会の実施 「朝来市こども教育支援センター」の活用 ユニバーサルデザイン化の視点による教育の充実 特別支援学校と小・中学校の連携 学びのサポーター対象研修会の開催
3 さまざまな支援を必要としている子どもへの対応	3 朝来の未来につながる地域と連携したキャリア教育の推進	⑤ 特別支援教育の推進	インクルーシブ教育システム構築に関する教職員の専門性の向上 一人一人の多様な教育ニーズに応じた教育の充実 交流及び共同学習の充実 効果的な引継ぎ情報を活用した指導・支援の継続 適応指導教室の開設に向けた体制づくり	児童生徒の内面理解を図る教育相談等の推進、学校ネットワーク化の推進、関係機関との推進問題行動の 未然防止、早期発見、早期対応のできる組織的生徒指導体制の充実 不登校の未然防止と支援の充実 いじめの種類的な認知と問題への対応 「いじめ未然防止プログラム」の活用 県立但馬やまびこの郷の活用と連携 スクリーンチャンネルワーカークの有効活用、チーム学校としての組織力強化	児童生徒の内面理解を図る教育相談等の推進、学校ネットワーク化の推進、関係機関との推進問題行動の 未然防止、早期発見、早期対応のできる組織的生徒指導体制の充実 不登校の未然防止と支援の充実 いじめの種類的な認知と問題への対応 「いじめ未然防止プログラム」の活用 県立但馬やまびこの郷の活用と連携 スクリーンチャンネルワーカークの有効活用、チーム学校としての組織力強化		
			⑥ 地域・家庭と連携したいじめ等問題行動・不登校への対応	学校全体で生徒指導の充実に努める いじめの種類的な認知と、未然防止、早期発見・早期対応にお ける組織的対応の徹底 不登校の予防、居場所づくりの充実		児童生徒の内面理解を図る教育相談等の推進、学校ネットワーク化の推進、関係機関との推進問題行動の 未然防止、早期発見、早期対応のできる組織的生徒指導体制の充実 不登校の未然防止と支援の充実 いじめの種類的な認知と問題への対応 「いじめ未然防止プログラム」の活用 県立但馬やまびこの郷の活用と連携 スクリーンチャンネルワーカークの有効活用、チーム学校としての組織力強化	
			⑦ 地域との協働による学校づくり	「地域とともにある学校園」づくりを推進		児童生徒の内面理解を図る教育相談等の推進、学校ネットワーク化の推進、関係機関との推進問題行動の 未然防止、早期発見、早期対応のできる組織的生徒指導体制の充実 不登校の未然防止と支援の充実 いじめの種類的な認知と問題への対応 「いじめ未然防止プログラム」の活用 県立但馬やまびこの郷の活用と連携 スクリーンチャンネルワーカークの有効活用、チーム学校としての組織力強化	
			⑧ 地域との協働による学校づくり	「地域とともにある学校園」づくりを推進		児童生徒の内面理解を図る教育相談等の推進、学校ネットワーク化の推進、関係機関との推進問題行動の 未然防止、早期発見、早期対応のできる組織的生徒指導体制の充実 不登校の未然防止と支援の充実 いじめの種類的な認知と問題への対応 「いじめ未然防止プログラム」の活用 県立但馬やまびこの郷の活用と連携 スクリーンチャンネルワーカークの有効活用、チーム学校としての組織力強化	

<p>を創造します。</p> <p>III これからの時代に対応するために教育環境基礎を整備し、教育成果を共有します。</p> <p>IV 朝来の未来を支える多様な力を育む、人材を育成します。</p> <p>V 誰にも保障される、充実した学びを支えるセット構築します。</p> <p>VI 生涯学び続け、人生を豊かに生き抜く、活躍できる力を育成します。</p>	<p>2 ふるさと朝来に愛着と誇りをもつ教育の推進</p> <p>1 これからの時代に向けた持続可能な教育体制の整備</p> <p>2 ICT機器等を活用した教育環境の整備</p> <p>3 授業のユニバーサルデザイン化の促進</p> <p>1 地域を巻き込んだ学校連携の充実</p> <p>2 グローバル化社会に対応した教育の育成</p> <p>3 就学前教育・保育の充実</p> <p>4 スポーツ・文化活動の振興と積極的な人材の育成</p> <p>1 地域と連携した防災教育・安全教育の推進</p> <p>2 関係機関・地域と連携した子育て支援の充実</p> <p>3 家庭の経済状況や地理的条件への対応</p> <p>4 共に学ぶインクルーシブ教育の推進</p> <p>1 生涯学び続ける力の獲得</p> <p>2 人権教育の推進</p> <p>3 文化財の保存及び活用</p>	<p>(8) ふるさと朝来への意識を醸成する教育の推進</p> <p>(9) 教職員としての資質能力と実践的指導力の向上</p> <p>(10) 協働体制の整備</p> <p>(11) ICT機器等の活用</p> <p>(12) 授業のユニバーサルデザイン化の促進</p> <p>(13) 学校・家庭・地域連携の推進</p> <p>(14) 園・小・中連携</p> <p>(15) 多文化共生社会に対応した教育の推進</p> <p>(16) 就学前教育・保育の充実</p> <p>(17) 競技・生涯・地域・障害者スポーツの推進</p> <p>(18) 伝統と文化に関する教育の推進</p> <p>(19) 防災教育の推進</p> <p>(20) 環境教育の推進</p> <p>(21) 安全・安心な教育環境整備の推進</p> <p>(22) 学童クラブ・子育て学習センター・子育て広場の運営</p> <p>(23) 家庭の教育力の向上</p> <p>(24) 教育費負担軽減に向けた経済的支援</p> <p>(25) インクルーシブ教育の推進</p> <p>(26) 生涯を通じた学びの充実</p> <p>(27) 社会教育施設の充実</p> <p>(28) 人権教育・多文化共生教育の推進</p> <p>(29) 文化財の保存・活用・継承</p>	<p>地域に根ざした伝統文化や芸術文化に触れる機会の充実</p> <p>「ふるさと朝来」の魅力を再認識</p> <p>児童生徒一人一人の個性を重視した指導力の向上</p> <p>専門性と実践的指導力の向上</p> <p>教職員としての基本姿勢の確立</p> <p>効果的・組織的な学校運営の推進</p> <p>働きやすい職場環境づくり</p> <p>子どもの安全を守る体制づくり</p> <p>危機管理能力の向上</p> <p>危機管理意識の醸成</p> <p>学校での働き方改革の推進に向けた市での統一した取組実践</p> <p>授業と校務の両面でICT機器等の積極的な活用の推進</p> <p>情報活用能力の育成</p> <p>特別支援教育の視点を生かした授業のユニバーサルデザイン化の促進</p> <p>習得、活用につながる指導方法の研究推進</p> <p>地域と学校間との密接な連携</p> <p>地域ぐるみの活動の充実、開かれた学校づくりの推進</p> <p>学校・家庭・地域が連携、協働した「地域とともにある学校」づくりの推進</p> <p>「発達」や「学び」の連続性、一貫性の推進</p> <p>幼児期と児童期の円滑な接続の推進</p> <p>国際的な視野から主体的に行動できる児童生徒の育成</p> <p>教育課程の編成及び実施</p> <p>カリキュラム・マネジメントに基づく保育の展開</p> <p>年齢や性別、障害の有無等にかかわらず、様々なスタイルで参加できるスポーツの普及</p> <p>「する・みる・ささえる」スポーツ環境づくり</p> <p>ふるさと朝来の魅力を再認識する教育の推進</p> <p>郷土の歴史や伝統、文化に触れる教育の推進</p> <p>防災教育・学校防災体制の充実</p> <p>自分の命は自分で守り、主体的に行動できる子の育成</p> <p>地域の人材や自然・風土をいかした学習素材の積極的な活用</p> <p>環境問題や環境保全等に対する理解の促進</p> <p>安全で質の高い学習環境の整備</p> <p>学校・児童福祉施設等の有効活用、適切な生活の場を提供</p> <p>地域との協働による安全体制整備</p> <p>子どもの望ましい生活・学習習慣づくりの推進</p> <p>家庭・地域との連携の促進</p> <p>経済的支援の充実</p> <p>環境整備と教職員の研修の充実</p> <p>保健・福祉・医療等の関係機関と連携した切れ目ない支援体制</p> <p>生涯を通じて、主体的に学び続けるための学習機会・情報の提供</p> <p>多様な学習機会・情報の提供</p> <p>探求的な学習での社会教育施設の積極的な活用</p> <p>自他に対する肯定的な態度と「共生社会」実現に主体的に取り組み実践力の育成</p> <p>歴史文化遺産の保護と次世代への継承の推進</p> <p>地域の歴史文化遺産学習による郷土愛の醸成</p> <p>歴史文化に根ざした地域の活性化</p>	<p>体験を通じて地域の魅力を認識する機会の充実</p> <p>図書館や資料館等に収蔵された資料の活用</p> <p>子ども向き姿勢の確立</p> <p>朝来市教育研修事業、メンタルヘルス研修会の開催</p> <p>校内研修、各種研修への参加及び遠流</p> <p>「教員・管理職資質向上指標」や「教職員研修計画」等を積極的に活用</p> <p>学校評価を活用した運営改善と評価結果の公表</p> <p>全教職員が協力した機動的に対応できる組織づくり</p> <p>学校支援システム構築</p> <p>危機管理体制の確立、学校業務改善の推進、学校運営協議会の推進体制の構築</p> <p>危機管理意識の醸成</p> <p>「ノー・ノー・ノー」の完全実施</p> <p>外部を重視した指導の実践</p> <p>【平日及び土日等の休業日にそれぞれ1日以上】部活動指導員の配置の促進</p> <p>すべての教職員が授業で効果的にICT機器等を活用出来るための研修や研究の実施及び指導力の向上</p> <p>一人一台使用のタブレットを活用した授業を推進</p> <p>校務のICT化による教職員の業務負担軽減及び教育の質の向上</p> <p>教育的ニーズに応じた個別指導の工夫、深い学びにつながる指導方法の研究、「朝来市こども教育支援センター」との協働及び研究の推進</p> <p>地域の教育力活用、情報発信、地域住民参画の促進</p> <p>学校・家庭・地域の連携協力推進事業の活用</p> <p>学校運営協議会制度の活用</p> <p>創意ある教育課程の編成、実施、評価、改善を適切に行う</p> <p>アップロードカリキュラムの活用と定着</p> <p>スタートカリキュラムの活用と定着</p> <p>異文化に触れる機会の充実</p> <p>多文化共生ポスターによる外国人園児児童生徒の日本語指導の推進</p> <p>保育・授業参観等の園小交流事業の展開</p> <p>こども園保育教育論の資質向上を図る研修の実施</p> <p>市民の体力づくりの推進、各種スポーツ大会の開催、生涯スポーツの普及推進</p> <p>スポーツ団体等の活動支援、体育施設整備・有効活用</p> <p>「ワールド・マスターズゲームズ2021関西」に向けた生涯スポーツへの機運高揚</p> <p>「あさごドリウムアップ事業」の活用</p> <p>「ひょうごのふるさと魅力発見副読本」(中学校版)の活用</p> <p>郷土の歴史、文化遺産の活用</p> <p>【研究モデル校指定】「伝統文化の学びの充実事業」(生野中学校・生野小学校)</p> <p>防災訓練等の実施、県防災副読本「明日に生きる」の活用、1.17追悼集会等、一斉避難訓練への参加</p> <p>地域と連携した学校防災体制の強化、ボランティア活動の推進、心のケアに関する指導の充実、教職員のカウンセリングマインドの向上を図る</p> <p>「あさごドリウムアップ事業」の活用</p> <p>「新兵器環境学習環境教育基本方針」を踏まえた環境教育の推進</p> <p>地域特性を踏まえた環境教育の推進</p> <p>非構造材への対策、施設の計画的な整備</p> <p>ICT環境の整備</p> <p>放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ・学童クラブ)の充実</p> <p>地域子育て支援拠点事業の充実</p> <p>積極的な情報提供による保護者、地域の理解</p> <p>地域の教育力の活用や関係機関との連携、子育て支援活動の充実</p> <p>学校における教育活動の経済的負担軽減の推進</p> <p>就学支援制度の充実、通学区域における助成の充実</p> <p>授業におけるユニバーサルデザイン化の推進</p> <p>通学就学のための教育相談の実施</p> <p>市民講座等の開催、読書に親しむ環境の整備</p> <p>生涯学習活動の推進・支援、人権教育の推進、青少年の健全育成</p> <p>社会教育施設が行う事業活動へ積極的に参画</p> <p>図書館において、発達段階に応じた体系的な読書活動を推進</p> <p>人権教育の推進体制の整備と全体計画及び年間計画の見直し</p> <p>発達段階に応じた人権教育の推進(「ほほえみ」「きらめき」「HUMAN RIGHTS」等の活用)</p> <p>外国人児童生徒等に対する日本語指導の強化</p> <p>いじめやインターネットによる人権侵害に対する理解の促進</p> <p>文化財等の調査・啓発事業、歴史資料館・埋蔵文化財センターによる学習機会の提供</p> <p>竹田城跡・生野野山・古墳群等の歴史文化遺産の保存・活用、郷土芸能・伝統文化の保存継承</p> <p>日本遺産関連イベントの周知</p>
--	---	---	--	--

## 市内の学校園

## ～ こんな取組をしています ～

### <こども園>

#### 生野こども園

#### <紹介> 地域にある施設訪問（地域との交流）



「笑顔いっぱい・元気いっぱい・優しさいっぱい」をテーマに、園児一人一人の思いを大切に教育・保育を行っています。友達と共に地域に出かけ関心をもった施設を訪問したり、地域の方と交流したりする中で、生野の良さ、自分との違いや相手を思う気持ちに気づき、かかわり方やつながりを意識し思いやりの心を育み、心輝かせながら活動できる子の育成をめざし取り組んでいます。

#### 糸井こども園

#### <紹介> 地域との触れ合い（林垣いきいきサロン）



地域や老人クラブ・小学校との触れ合いをさらに深められるよう交流会を実施しています。秋には4歳児が林垣の「いきいきサロン」への訪問することが恒例となり、地域の方との楽しいふれあいの場となっています。地域に出かけ触れ合う場を通して、地域に親しみ、人に対する愛情や信頼感を育て、自立と共同の態度が養えるよう取り組みを進めています。

#### 大蔵こども園

#### <紹介> お正月あそび（地域のお年寄りとの交流）



近隣に小学校や福祉施設、自治協議会があり、散歩の途中に立ち寄りたり、地域の老人会の方に来てもらったりして一緒に遊んだり交流したりしています。地域の方々とのふれあいや様々な体験活動を通して、たくましい心と体を育てることを目標に、日々教育・保育に取り組んでいます。また、異年齢で遊びながら思いやりの気持ちを育むことや、一人一人の育ちを踏まえ、家庭との連携を大切にしながら基本的な生活習慣の定着をめざしています。

#### 東河こども園

#### <紹介> 異年齢児活動（異年齢児コーナー遊び）



「主体的に遊べる環境づくり」をテーマに、園児一人一人の興味関心を大切にしながら、保育環境を工夫し異年齢児活動に取り組んでいます。様々な交流活動を通して、一緒に考えたり、伝え合ったりしながら、主体的に生き生きと遊び、優しく思いやりのある子の育成をめざしています。

## 竹田こども園

### <紹介> クラスで活動内容の共通理解



今年度より、朝来市教育研修所の指定を受け「しなやかな心と体を育むために～一人一人が輝く保育教諭のかかわり～」をテーマに、様々な活動の中で、どの子も自分の力を発揮しながら取り組むことができるように、保育教諭の手立ての仕方や関わり方について研修を進めています。

## 中川こども園

### <紹介> 地域の方とねぎの収穫体験



心身ともに健やかな子どもの育成をめざし、0歳児から就学前までの園児の成長発達を踏まえ様々な人とのかかわりを大切にした保育・教育を進めています。地域に出かけ茶摘みや岩津ネギ収穫を体験したり、恵まれた環境の中で思いっきり遊ぶなど、多くの方と触れ合いながら、いききと活動できるよう取り組んでいきます。

## 山口こども園

### <紹介> 地域の方との交流（さつまいもの収穫）



自然豊かな環境の中にあり、地域の方とは栽培・収穫活動を含め様々な交流をしています。また、毎日の様々な遊びや生活の中での学びを大切にし、主体的に行動する力を育みます。また、家庭と共に健康な生活リズムや基本的な生活習慣の定着に取り組み、心も体も健やかな自立した子どもの育成を目指します。

## <小学校>

## 生野小学校

### <紹介> ふれあい音楽会（あさごドリームアップ事業）



保護者や地域の方を招き、全校生が合唱や合奏を披露する「ふれあい音楽会」を開催しています。発表に向け地元出身の方を講師とし、歌唱・合奏指導を受けています。今年度はさらに、地域の民謡「石刀節」も加え発表することができました。保護者や地域の方々の思いも大切に、一人一人の子どものやる気を引き出し、ふるさとを愛する児童の育成に取り組みます。

## 糸井小学校

### <紹介> いきいきタイム～楽しく声を出そう～



糸井小学校では、声を出すことの楽しみを知り、自分の思いを表現しようとする子の育成をめざし、「いきいきタイム」に取り組んでいます。早口言葉、ことわざ、百人一首など放送に合わせて声を出す練習をしたり、クラス代表が発表したりしています。また、学年の取組を朝会で発表し大勢の前で自分を表現する機会を作っています。今後も、話すことが楽しくなる取組を継続します。

## 大蔵小学校

### <紹介> じろはったん集会



「人や物を慈しむ心」を育むために毎年「じろはったん集会」を開催しています。今年もオープンスクールとして保護者や地域の方に日ごろの活動の成果を公開しました。4、5年生は「歌物語じろはったん」を披露し、他の学年は「人権」や「思いやり」をテーマにした学年発表を行いました。大蔵っ子は地元出身の作家森はなさんの思いをしっかり受け継いでいます。

## 枚田小学校

### <紹介> 尺八体験（あさごドリームアップ事業）



地域の専門家講師により、音楽・体育の指導を継続しています。音楽では箏と尺八、雅楽の鑑賞・体験をする中で、日本の伝統音楽に親しむことができています。体育では鉄棒、水泳、跳び箱、マット運動、運動遊びの指導によって技術の向上・運動することの喜びを味わっています。今年度はダンスや絵画、和田山音頭の指導も計画しています。より一層、ふるさとに愛着を持ち、学びに向かう力・人や社会とかがわる力の育成に取り組みます。

## 東河小学校

### <紹介> 東河青龍太鼓 未来を担う東河っ子の育成



東河っ子のふるさと自慢の一つは「東河青龍太鼓」です。和楽器のすばらしさを感じるとともに、仲間と演奏する喜びを感じながら伝統を受け継いでいます。壱岐市箱崎小学校との交流やふるさと学習を通して、人と人とのつながりを大切に、故郷に誇りを持つ心を育てています。主体的に行動する力を培い、保護者・地域の皆さんから多くのお力添えをいただきながら、未来を担う東河っ子の育成に取り組みます。

## 竹田小学校

### <紹介> 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）



竹田小学校は、但馬で最初にできたコミュニティ・スクールで9年目を迎えます。家庭・地域等と連携して子どもたちを育む学校です。運営協議会委員には、竹田城跡保存会会長、竹田地区区長会会長、竹田区区長（新町～下町）、竹田っ子育て部会部会長、主任児童委員、福祉施設長、竹田こども園長、PTA 会長、副会長、学校職員数名で構成され、校長の学校経営方針の承認を得て、学校運営がされています。（写真は承認の拍手）昨年度は、但馬小学校理科教育研究発表大会を行いました。

## 梁瀬小学校

### <紹介> いのちを光り輝かせる梁瀬っ子



確かな学力の向上を目ざし、「個々の居場所がある学級」「お互いが高め合える学級」を基盤に、授業のユニバーサルデザイン化やICT活用による分かりやすい授業の構築に取り組んでいます。また、心豊かな児童の育成のために、縦割り遠足・縦割りそうじなど「縦割り班活動」を通じて、社会性やコミュニケーション能力の向上を図り、自己有用感や規範意識の醸成に努めています。

## 中川小学校

### <紹介> 「但馬・朝来・中川」ふるさと大好きっ子を育てる



校区には、豊かな自然、伝統ある文化、それらと深くかかわっている方がおられます。ふるさとを愛し、誇りとする子の育成をめざして、生活科や総合的な学習の時間を中心に学習をしています。岩津ねぎの栽培・収穫・調理、お茶の収穫・製法、書写指導、音楽鑑賞等に取り組んでいます。ドリームアップ事業とも関連させ、地域の方々にもお世話になっています。

## 山口小学校

### <紹介> 学ぶことが楽しい学校



山口小学校は「鉱石の道」「羽瀨獅子舞」「岩津ネギ」等、多くの歴史・伝統と文化に支えられ、日本を代表する実業家原六郎氏、オリンピック入賞者小谷澄之氏、文化功労者淀井敏夫氏をはじめ多くの著名人を輩出した校区です。将来に活かすための基礎学力の定着や体力づくり、豊かな感性を育み、自らの夢や志を培うふるさと学習を行い、日々「学ぶことが楽しい」ことが実感できる学校です。



## < 中学校 >

### 生野中学校

#### < 紹介 > 歴史遺産の町を忘れない



校訓「至誠」は、戦国時代より国の要衝であった鉾山町としての誇りと仕事にかける情熱を象徴する言葉です。平成29年には、鉾石の道～銀の馬車道が日本遺産に認定されました。そんな文化や精神を守り、後世に引き継いでいくことが本校の役割だと捉えています。卒業までの三年間でふるさとを知り、ふるさとを育てていこうとする態度を養っています。

### 和田山中学校

#### < 紹介 > 献血キャンペーンでのボランティア活動



本校では、校訓「自立、敬愛、創造」の実現に向けて、生徒会活動を中心とした生徒の自主的・主体的な取組と、わかりやすく参加しやすい授業のユニバーサルデザイン化の取組を継続して行っています。生徒会では、入学説明会や体験授業で先生と一緒に6年生をサポートしたり、竹田城の清掃活動や献血キャンペーンなどに取り組んだりしています。

### 梁瀬中学校

#### < 紹介 > 授業研究（指導力向上）



昨年度まで2年間、日本道徳教育学会近畿支部顧問の行本美千子先生を専属の講師に迎え、特別の教科道徳について研究を進めてきました。昨年度は特に「問い返し」について研究を深め、指導力向上に取り組みました。今年度も今までの取り組みを継続し、子供たちの「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」を育てるため、「主体的・対話的で深い学び」を進めていきます。

### 朝来中学校

#### < 紹介 > 授業のUD化と授業改善



地域の皆さんに多くの支えをいただき、将来に我が町を担う人材育成に取り組んでいます。昨年度は、市指定の「授業のユニバーサルデザイン化事業研修会」を実施しました。来る新しい教育課程の全面実施に向け、今年度はさらに発展させ、子どもたちの学びを支え、子どもの活動を中心に据えた授業への積極的な転換・改善に取り組んでいきます。

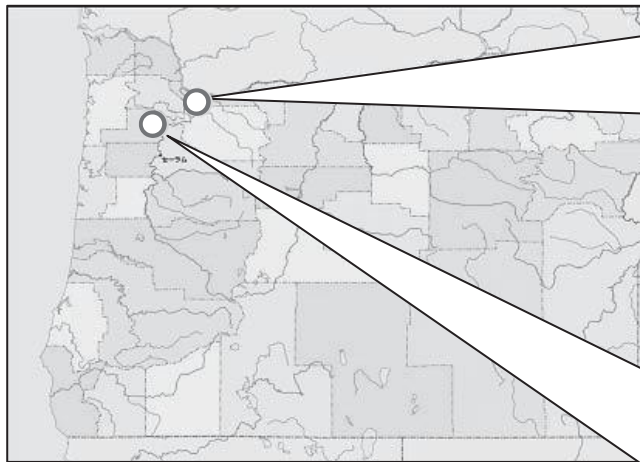
## 令和2年度特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業）計画一覧表

学校名	事業内容
生野 小学校	地域の方々とふれあいながら地域の特色を学び、ふるさと生野の良さを知り、誇りを持つ。 ・「柝の実太鼓」、「石刀節」の学習 ・生野ふるさと講座（詩吟） ・ふれあい音楽会開催 ・交流田における農業体験（田植え・稲刈り・収穫祭）
糸井 小学校	夢を持ち、ふるさと「糸井」再発見 ～ふるさとを愛する児童の育成～ ・寺内さんざか踊り、雅楽の観賞、箏・尺八の演奏 ・アゲハチョウの生態観察、糸井渓谷の野鳥観察 ・昔の遊び体験、稲作体験（田植・稲刈・脱穀）、さつまいも栽培体験 ・職業体験
大蔵 小学校	地域の歴史や文化を活かし、地域の人材を活用した体験学習 ・「じろはったん米」の田植え・稲刈り、シソ・落花生・黒豆栽培 ・茶道体験、能・雅楽・尺八・箏鑑賞 ・アゲハチョウの生態観察 ・「じろはったん」紙芝居、歌物語「じろはったん」、木の葉の船プロジェクト
枚田 小学校	—地域の歴史・文化・人から学ぼう—「人とのつながり 大すき ふるさと朝来」 ・琴・尺八の鑑賞・体験、雅楽の鑑賞 ・赤ちゃん先生プロジェクト ・和田山音頭体験 ・器械運動学習 ・ダンス創作 ・水彩画教室 ・野菜栽培 ・法隆寺と枚田のつながり学習
東河 小学校	ふるさと東河、朝来の自然と歴史を学び、伝統文化を引き継いで、地域のすばらしさや豊かさを再発見する。 ・運動会や学校音楽祭、オープンスクール等に向けての東河青龍太鼓の練習と発表 ・壱岐市立箱崎小学校との交流事業（箱崎小学校への訪問・箱崎小学校の来校）
竹田 小学校	「ようこそ先輩、郷土歴史伝統文化継承実践事業」 ・昔の遊び、わら細工づくり ・栽培野菜等のクッキング ・お正月伝統料理 ・山桜再生プロジェクト ・虎臥陣太鼓体験 ・パンジー・葉ボタン栽培 ・箏・雅楽の学習
梁瀬 小学校	ふるさと朝来が誇る「歴史」「文化」「ひと」「産業」「自然」に学ぼう。そして、私たちの町の未来について考えよう。 ・米づくり体験（田植えと稲刈り） ・扇子踊り体験 ・日本の伝統音楽（雅楽・琴）体験 ・岩津ねぎ・黒大豆の栽培体験 ・朝来の自然（昆虫・植物類）体験学習
中川 小学校	『但馬・朝来・中川』ふるさと大好き子を育てるとともに、将来の朝来市を担う人材育成を図る。 ・書道の実技指導と講話、大筆体験、書写指導 ・体幹トレーニング ・お茶収穫・加工体験 ・アンサンブル・ロンドの演奏 ・赤ちゃん先生プロジェクト ・岩津ねぎの栽培・収穫・調理
山口 小学校	ふるさとに学ぼう ・岩津ネギ栽培 ・羽瀧獅子舞の鑑賞 ・和楽器学習 ・おもしろ理科実験 ・ふるさと学習（八代足鹿神社、南八郎、原六郎、鉾石の道等） ・学校シンボルツリーの楠でツリーライミング ・書写教室
生野 中学校	ふるさとを体感的に学習する中で「ふるさと意識の醸成」を図り、自分の役割をしっかりと認識して社会を担っていく人材を育てる ・鉾石の道・銀の馬車道学習（1年） ・史跡生野銀山の見学（3年） ・ハンザキ研究所、生野書院で郷土学習（生野の歴史の講和）と茶道体験（2年） ・生野ボランティア「19の日」 ・地元高齢者とのふれあい
和田山 中学校	ふるさとへの思い、朝来市への思い ～夢、希望そして未来～ ・市観光大使の「にこいち」による講演会 ・赤ちゃん先生プロジェクト ・竹田城跡登山道の清掃活動
梁瀬 中学校	ふるさとを愛し 共に自己を磨き合い 心清く自立した生徒の育成 ・地元企業（グンゼ梁瀬工場等）訪問 ・書道指導 ・「ふるさと愛と職業魂」パネルディスカッション（地元で活躍する元気な人から学ぶ） ・ハローワークからみた職業選択 ・地域を題材にした講演会
朝来 中学校	郷土を愛し、未来に向けて進んで学ぶ心豊かな生徒の育成 ・集団行動「朝中ソーラン」の指導 ・全校ボランティア活動（朝来夏祭りの後片付け） ・人権講演会 ・地域の専門家を招いた造形教室 ・赤ちゃん先生プロジェクト ・花いっぱい運動

～ 世界へはばだけ  
あさごフレンドシップ 2020 ～



<アメリカ合衆国・オレゴン州>



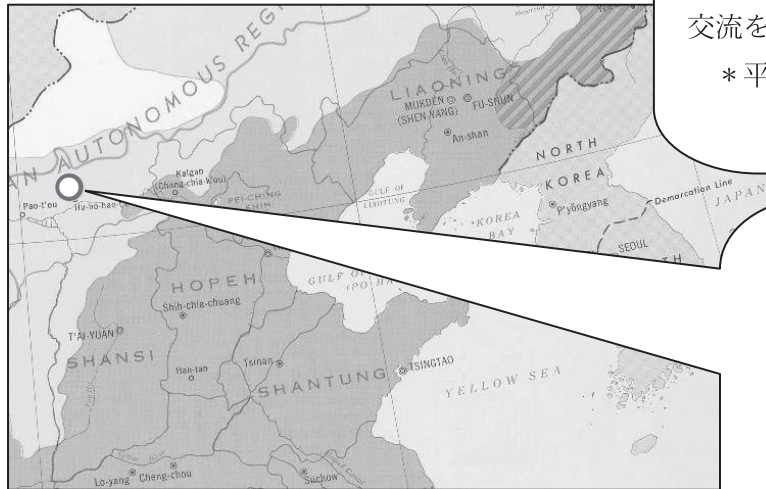
アメリカ・オレゴン州・ポートランド市：  
マウント・テバー・ミドルスクールとは梁瀬  
中学校が平成9年から交流を継続しています。  
平成22年からは生野中学校、平成27年度から  
は朝来中学校も加わり生徒間の交流をさらに  
充実させています。

アメリカ・オレゴン州・ニューバーグ市：  
シャヘイラムバレー・ミドルスクールとは、  
前身のスプリングブルック・ミドルスクール  
と和田山中学校が平成2年の姉妹校提携から  
交流を継続しています。

\*平成12年

旧和田山町と姉妹都市提携

<中華人民共和国>



中華人民共和国・内モンゴル自治区：  
蒙古族学校と和田山中学校で昭和63  
年に姉妹校提携を契機に交流を継続  
しています。近年は、毎秋、フフホ  
ト民族学院から教師と学生を日本語  
研修生として招聘し、和田山中学校  
を拠点に市内の小・中学校を訪問し  
ています。

<カナダ>



オンタリオ州パース町：  
平成20年、朝来市と姉妹都市提携を  
行い、継続的に交流を図っています。  
(2016年度町制200周年)

\*平成12年

旧朝来町と姉妹都市提携

# 誇り高き故郷「あさご」

◎朝来市の木 けやき

◎朝来市の花 桜

◎朝来市の特産品

- ・ 岩津ねぎ
- ・ 朝来みどり（茶）
- ・ 地酒
- ・ 特製みそ
- ・ 生野紅茶
- ・ からみあめ
- ・ しょう油
- ・ よもぎうどん
- ・ かぐら漬け
- ・ やくの高原漬け

## 朝来市の歌

作詞 稲岡 俊一  
補作詞・作曲 小椋 佳

一

川(かわ)の流(なが)れの恵(めぐ)みをうけて  
栄(さか)え続(つづ)けて今(いま)がある  
四季(しき)の彩(いろど)りあやなす自然(しぜん)  
愛(あい)を育(はぐ)くみふれあって  
心(こころ)ひとつに進(すす)み行(ゆ)く  
われら朝来市(あさごし)あかると未来(みらい)

二

歴史(れきし)文化(ぶんか)の香(かお)りをのせて  
みどり豊(ゆた)かな風(かぜ)がある  
古墳(こふん)城跡(しろあと)また銀鉾山(ぎんこうざん)  
栄華(えいが)の昔(むかし)糧(かて)として  
明日(あす)のしあわせ築(きず)き行(ゆ)く  
われら朝来市(あさごし)かがやく未来(みらい)

三

働(はたら)く苦勞(くろう)よろこびにして  
流(なが)す汗(あせ)には夢(ゆめ)がある  
命(いのち)きらめくこの理想(りそう)郷(きょう)  
暮(く)らして活気(かっき)満(み)ち満(み)ちて  
若(わか)い力(ちから)も伸(の)びて行(ゆ)く  
われら朝来市(あさごし)大(おお)きな未来(みらい)

## 産業・特産

### ● 酒蔵

市内には2軒の歴史ある造り酒屋があり、いずれも豊かな自然の中、代々受け継がれてきた杜氏や蔵人達の技によって、個性豊かな味わい深い地酒が造られています。

### ● 地場産業場 竹田の家具

和田山町竹田の家具づくりの歴史は、およそ400年前に竹田城主、赤松広秀が漆器づくりを奨励したことが始まりと言われています。

近年は卸向けの大量生産から小売へと転換し、直接お客様と対話しながらニーズに合わせられる手作り家具が好評です。

### ● 金属バネ工業

第二次世界大戦中に大阪のスプリング工場が疎開してきたことから始まったものです。日本の高度成長とともに発展し、今日では、コンピューター用のわずか数ミリのものから、工業用の大きなスプリングまで出荷しています。

### ● 岩津ねぎ

岩津ねぎの歴史は古く、江戸時代に生野銀山の役人が京都に出向いた際に九条ねぎの種を持ち帰ったことが始まりといわれ、銀山労働者の貴重な冬の野菜供給源となっていました。

現在、商標権を取得している「岩津ねぎ」は朝来市のブランド商品として確立しました。ラベルの統一や徹底した品質管理のもと、食の安全・安心を確保し、消費者に良い品、安全な品を提供していくために、積極的な振興策を展開し、生産と販路の拡大を図っています。

## 郷土が生んだ日本を代表する彫刻家

淀井敏夫（明治44年～平成17年）

明治44年に朝来市佐中で生まれた淀井氏は、昭和8年に東京美術学校（現東京芸術大学）彫刻科を卒業。昭和11年の第23回二科展に「仕事着の青年」を初出展。昭和23年の第33回二科展では、出品作品「老人胸像」で二科会特待賞を受賞。昭和40年（1965年）には東京芸術大学教授に就任。昭和48年の第58回二科展への出品作品「砂とロバと少年」で、内閣総理大臣賞を受賞。昭和53年に東京芸術大学教授を退官、同大名誉教授となります。長年の創作活動と芸術発展への功績により、昭和58年に勲三等旭日中綬章を受賞、平成13年には文化勲章を受章されました。主な作品に「飛翔」などがあります。

### 日下寛治 (大正6年～平成18年)

和田山町林垣出身。昭和8年の日展初入選を皮切りに日彫賞など数多くの賞を受賞。日本美術家連盟会員、日本彫刻倶楽部会員(昭和8年)、日本彫刻会会員(昭和22年)として文展4回、日展22回の入選を重ね、日展無審査彫刻家として多くの作品を制作し活躍しました。寺谷橋左岸の「友愛」の像など多くの作品を郷土に残しています。

## 郷土が生んだ日本を代表する画伯「生野三画伯」

明治近代画壇へ大きな功績を残した生野町出身の白瀧幾之助、和田三造、青山熊治の三画伯は、郷土が誇る偉大な文化人です。

### 白瀧幾之助 (明治6年～昭和35年)

生野町奥銀谷で生まれ、父は浜沖之助、鉱山師でした。小学校を卒業後、工学士を夢見て上京しますが、明治23年、和田三造の兄、正造の勧めもあり画家になることを決意。東京美術学校を卒業後、明治37年から7年間欧米にわたり、イギリス水彩画の影響の強い滞欧作を数多く残しています。また、留学中に知り合った三井高精を助け、多くの新進画家の作品を「三井コレクション」に加え、後進の育成にも力を注ぎました。代表作は「稽古」(明治30年)。

### 和田三造 (明治16年～昭和42年)

生野銀山鉱業所の勤務医や校医を勤めた文碩とその妻秀の四男として、生野町で生まれました。明治42年から大正3年まで文部省美術留学生として渡欧、帰国後は文展、帝展の審査員を務めるかたわら、染色図案を中心とした装飾工芸の研究にも力を入れました。昭和33年、文化功労者として表彰されました。代表作「南風(nampu)」(明治40年)は、明治という時代を象徴する記念碑といわれています。

### 青山熊治 (明治19年～昭和7年)

生野町口銀谷生まれ。大正3年～11年まで西欧各地での修業後、大正15年第7回帝展に、500号の大作「高原」を出品。特選と帝国美術院賞を受賞して脚光を浴びました。

ルノワールやセザンヌの影響を受け、寒色系の統一された色調と力強い描写で、モニュメンタルな大画面を構成しました。生野町に帰郷中、九州大学壁画がほぼ完成した昭和7年、46歳の若さで急逝、短い生涯をとじました。代表作の一つ「高原」(大正15年)。

## 芸術・図書館・文化ホール

### ●あさご芸術の森美術館



雄大なロックフィルダム多々良木ダムの直下に位置し、美術館には、展示室とアトリエ室、芸術等の情報を提供する情報コーナーがあり、朝来市出身の彫刻家、淀井敏夫氏(1911-2005、文化勲章受章者)の生涯作品を屋内外に常設展示するほか、さまざまな企画展やイベントを開催します。美術館周辺は散策やサイクリングにも最適です。

### ●和田山図書館

但馬初の本格的な図書館として平成7年にオープンしました。現在、蔵書約14万2千冊、建物は木材を使用した設計で、心地よい読書環境を整えています。市内図書館のインターネットでの蔵書検索及び予約貸し出しも可能です。

### ●あさご森の図書館

平成17年にオープン。約5万冊の蔵書を整備し、ゆったりと読書できる空間を設けており、家具も木製を基本として、温かみのある雰囲気醸し出しています。建物は地球温暖化防止のための対策技術を用いたエコハウスであり、地域住民の方が書籍等を通じてさまざまな学習活動を行う生涯学習施設としての図書館でもあります。

## ●和田山ジュピターホール

芸術の理解に欠かせない優れたホールで、1年を通じて各種公演を行っています。「ジュピター」はローマ神話の主神・太陽系最大の惑星である「木星」、モーツァルトの交響曲第41番の愛称に通じています。大ホールは800人収容のワンスロープ方式、小ホールは200人収容のワンフロア方式です。楽屋・会議室・研修室・和室を備え、子育て支援ルームも開設しています。

## 歴史文化遺産

### 近畿最大の円墳 茶すり山古墳（国指定史跡）



筒江にある茶すり山古墳は、5世紀前葉に造られた2段築成の円墳です。直径約90メートル、高さ約18メートルを測り、円墳としては近畿地方最大規模を有しています。

墳頂には東西約36メートル、南北約30メートルの楕円形の平坦面があり、そのやや内側に、円筒・朝顔形埴輪列があります。段築平坦面にも埴輪列があり、斜面には葺石も見られます。また、墳頂部には大小2つ

の埋葬施設があり、前者からは機内以外では唯一となる襟付短甲が出土しています。

このような、墳丘の規模や中心埋葬施設の内容から、ヤマト王権と強く結びついた首長の墓であると考えられています。

### 但馬最大の前方後円墳 池田古墳（県指定史跡）



和田山町平野にある池田古墳は、但馬最大の前方後円墳です。墳丘全長134.5m、周濠を含むと160mを測り、兵庫県でも4番目の規模を有します。現在までの発掘調査で、葺石・周濠・東西で用途の異なる造出や渡り土堤といった構造物の存在が判明しました。出土した水鳥形埴輪は全国最多を数えます。

復元すると1mを越える家形埴輪などがあります。これら池田古墳とその構造物・出土品は古墳時代の葬送儀礼を知るうえで貴重な発見です。

### 全国屈指の山城遺構 竹田城跡（国指定史跡）



竹田城跡は、標高353.7メートルの山頂に位置し、天守台を中央に南千畳・北千畳・花屋敷が放射線状に配され、城の築かれている古城山全体が、虎が臥せているように見えることから「虎臥城」とも呼ばれています。

竹田城跡は、嘉吉年間（1441－43年）に但馬の守護大名・山名宗全が築いたとされ、太田垣氏が7代にわたり城主を務めましたが、織田信長の命による秀吉の但馬征伐で天正8年（1580年）に落城。その後、最後の城主・赤松広秀の頃に豪壮な石垣城郭として整備されたと考えられます。

縄張の規模は南北400メートル、東西100メートルにおよび、完存する石垣遺構としては全国屈指のもので、平成18年（2006）には日本城郭協会により「日本100名城」に選定されました。自然石を巧みに配置した野面積みの石垣は、400年を経た今でも当時の威容を誇っています。

また、城跡周辺での朝霧は秋の風物詩となっており、雲海に包まれた姿は「天空の城」として全国に名を馳せています。

最近では、この美しい風景を求めて来訪者が急増し、平成26年度には約60万人が訪れました。現在は、史跡保護と観光振興の両立を図りながら、竹田地域の活性化を進めています。

### 幕府の直轄鉱山として栄え、日本の近代化を支えた 生野鉱山

生野鉱山は、大同2年（807）に開坑したと伝えられています。織田～徳川幕府の直轄鉱山として栄え、明治元年（1868）には日本最初の官営鉱山となり、西洋の最新技術によって政府の財源を支えました。その後は皇室財産、明治29年(1896)からは三菱合資会社によって採掘が進められた日本を代表する大鉱山です。

昭和48年(1973)に閉山し、現在は観光用の坑内に入り、当時のままの岩肌や、GINZAN BOYZたちにより再現された作業風景を見ることができます。



### 生野鉱山及び鉱山町の文化的景観（国選定重要文化的景観）



生野鉱山と鉱工業とともに発展してきた生野は、国内の多くの鉱山町が閉山とともに衰退していくなかで、今なおその技術を活かした鉱工業が生き続ける現役鉱山都市です。日本における生活・生業の在り方を理解するうえで欠かすことのできない景観としてその価値が認められ、平成26年（2014）3月に、兵庫県で初めて国の重要文化的景観に選定されました。

これからも生野に住み続けることが、鉱山町の文化、生活風習とともに景観を守っていくことに繋がります。

### 日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」



平成29年（2017）4月、朝来市は姫路市、福崎町、市川町、神河町、養父市とともに、日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」の認定を受けました。

姫路・飾磨港から生野へ至る「銀の馬車道」と南但馬の鉱山群を結ぶ「鉱石の道」。姫路から日本屈指の鉱山群を目指す73kmの旅をストーリーにしたものです。明治日本の近代化を支え、鉱山資源大国日本の記憶を現在に残すこの道を、今後、郷土の誇りを強くし、地域の観光振興を進めるものとして、活用していきます。

## 銀の馬車道（生野鉱山寮馬車道）



生野鉱山で必要な石灰や資材などを運ぶために造られた日本最初の「高速産業道路」です。明治9年（1876）に生野から姫路・飾磨港まで、全長49キロメートルが開通。この道沿いの多くの宿場町は、物資とともに人や文化、情報が行き交うことで発展しました。現在は「銀の馬車道」の名で親しまれています。

## 鉱石の道



明延鉱山で採掘・破碎した鉱石は、電車で神子畑選鉱場へ運ばれて選鉱されました。そこからさらに錫のインゴットを作るため鉱石輸送軌道で生野精錬所に運びました。鉱石や従業員を運んだ明神電車（一円電車）、神子畑と羽瀧の鑄鉄橋は、日本の産業遺産として貴重です。

朝来市では明延・神子畑・生野の産業遺産をめぐるルートを「鉱石の道」と命名し、産業遺産の活用に取り組んでいます。

## 日本最古の全鑄鉄製の橋 神子畑鑄鉄橋（国重要文化財）



生野鉱山と神子畑鉱山を結ぶために、明治18年（1885）から2年間にわたる工事によって神子畑川に架けられたもの。日本に現存する鉄橋の中では3番目に古く、全鑄鉄橋としては日本最古を誇ります。下から見上げるとフランスのエッフェル塔の骨組みに似ています。

## 生野義挙碑

## 生野町口銀谷



文久3年（1863）10月の生野義挙（生野の変）の事跡を後世に伝えるため、昭和15年（1940）に代官所跡地に建立されました。このできごとは、明治維新の魁となったといわれています。

## 水月院（元文一揆と壱岐の島）



元文3年（1738年）、生野代官の支配下で百姓一揆「元文一揆」が起きました。東河庄野村の小山弥兵衛は、この一揆の首謀者の一人として捕えられ、長崎県壱岐島へ流罪となりました。その後、弥兵衛の孫娘は祖父に会うために出家、全鏡と名を改め壱岐島に渡りました。そして3年後、83歳で弥兵衛が亡くなると、遺骨を携えて帰郷。まもなく、円明寺（和田山町宮）の門に入り、法名を心諒と改め、水月庵（現 水月院）を再興したといわれています。



### 進藤家住宅（千年家）（県指定有形文化財）



明治・大正時代に財界で活躍した「原六郎（進藤俊三郎）」の生家で、通称「千年家」とよばれています。江戸時代前期の建築物と考えられ、柱や梁が太く、天井の低い造りとなっています。使い込まれた囲炉裏やすすで染まった天井や建具、家財道具などが、歴史を物語っています。

### 大明寺



大明寺は、貞治6年（1367）、美濃の月菴和尚が開いたといわれる臨済宗妙心寺派の名刹です。

山名時熙が建立したと伝えられる萱葺入母屋造りの開山堂は、中央に本尊を祀り、その奥には月菴和尚と山名時熙の木造が安置されています。開山自賛画像、徳川家光からの御朱印状や慈母観音なども伝わります。

### 延応寺



延応元年(1239年)に創建された、生野で一番古いお寺です。四条天皇が時の名をとって名前をつけられたという、由緒深い古刹です。境内にある観音堂の前の大欅は、樹齢数百年と推定され、県の天然記念物にも指定されています。

### 赤淵神社（国重要文化財）



枚田内高山のふもとに鎮座する式内社です。室町時代に建てられた本殿は、三間社流造り、こけら葺、墓股（かえるまた）、懸魚（げぎょ）、妻窓などに当時の建築様式を残しており、国の重要文化財に指定されています。

### 當勝神社（まさかつじんじゃ）



當勝神社は天平2年（720）の創建と伝えられ、開運繁栄の神、万物創世の神、織物の神の三柱が祀られる宮として、但丹三国に広く尊信を集めています。武官の木造二体を安置する隨身門と古宮（旧本殿）は市指定有形文化財です。とりわけ、古宮の彫刻は仲井言次忠定といった当時の工匠の力作で、その装飾的技術は近隣に類をみないものです。

## 粟鹿神社



但馬国一の宮、延喜式に定める名神大社でもある粟鹿神社は、昔から神徳の高い神社として朝廷の尊崇が厚く、国家の大難に際して4度の勅使が派遣されたと伝えられています。その折りにおかげがあったことを記念して建てられたのが勅使門です。本柱間の両開きの唐戸は、透かし彫りの欄間をつけ、羽目板には鳳凰が、頭貫には唐草模様がみられます。

## 大同寺



大同2年(807)に天台宗の寺院として創建、南北朝期に臨済宗に改宗し、山名氏の菩提寺となりました。県指定文化財の開山堂は、江戸中期の唐様を基調とした仏堂遺構。堂内に奉置されている中興の開山、月菴禅寺の座像をはじめ、山門や白衣観音図など、県・市指定文化財を蔵しています。

## 岩屋観音堂



60m以上もある岩壁に張り付くように建つ舞台造のお堂。鷲原寺奥の院でもあるお堂の、祭壇奥の岩の中は、鎌倉時代に心阿が刻んだ開祖の法道仙人や十一面観音菩薩など15体の石仏が安置されています。この石仏は、節分と4月の春季大祭および毎月18日の午前中にご開帳されます。

## 歴史資料館

### 朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」



国重要文化財である但馬城ノ山古墳及び茶すり山古墳出土品をはじめ、朝来市内の貴重な歴史考古資料を適正な管理のもと、保存・公開しています。また、但馬の歴史・文化に触れられる体験学習メニューも用意しています。

### 朝来市和田山郷土歴史館



かつての寺内小中学校跡地に建つ資料館。明治以前には、糸井京極陣屋があり、現在は門塀だけが当時のまま伝わっています。館内では昔懐かしい生活用品、地域の主産業であった繊維産業にまつわる豊富な資料を展示しています。

## 生野書院



材木商の邸宅を改修し、生野鉷山初代鉷山長・朝倉盛明の官舎正門を移設して、平成4年（1992）に開設した資料館です。生野に関する古文書や書画などの史料を公開し、それらを通じて生野の歴史を知ることができます。

## 天然記念物

### 糸井溪谷・糸井の大カツラ(国指定天然記念物)



糸井川上流から東にのびる両側の溪谷風景は美しく、「不動の滝」などの見所の他、溪谷の最奥部には「大カツラ」があり、国天然記念物に指定されています。

大カツラの主幹はすでに朽ち果て、周囲から約80本の“ひこばえ”が亡き主幹を守るかのように林立しています。主幹の跡は6畳間くらいの広さがあり、樹齢は2000年ともいわれています。

### 延応寺の大ケヤキ(県指定天然記念物)



延応寺観音堂の前にそびえる推定樹齢数100年、直径2.8メートル、根本周囲8.4メートル、高さが30メートルを誇る、ケヤキとしては県内2番目の巨木です。生野義拳絵巻にも描かれ、生野鉷山町の栄枯盛衰を見守ってきました。

### 西谷のフジ(市指定天然記念物)



當勝神社の西方の西谷地区には、推定樹齢300年－350年を数える、フジの木があります。当地方最古かつ最大のフジとして、学術上、自然保護上貴重な植物です。そばには地域で信仰の対象とされている地藏堂があります。

### 八代の大ケヤキ(国指定天然記念物)



高さ約30メートル、幹周り約9メートルを測る巨木で国指定天然記念物です。推定樹齢は約1500年。式内社足鹿神社の境内にあり、古くからご神木としてあがめられています。

## ウツギノヒメハナバチ群生地(県指定天然記念物)



5月下旬から6月中旬にかけて、楽音寺境内で巣作りの様子が見られます。ヒメハナ公園入り口付近には、ハチのかわいらしい像が並ぶ通りが整備されています。

## オオサンショウウオ(特別天然記念物)



朝来市は、全国でも有数のオオサンショウウオの生息地です。オオサンショウウオは日本固有かつ世界最大の両生類であり、生きている化石といわれますが、その生態について詳細は不明です。生野町黒川にある「日本ハンザキ研究所」では、オオサンショウウオについての様々な研究や保護活動への理解を広げる活動が行われています。

## 自然景観

### 山陰随一の藤棚を誇る 大町藤公園



約7000平方メートルの敷地に総延長500メートルの藤棚があり、5月上旬から中旬にかけて花が咲き乱れ、幽玄な空間を創りだし、訪れる人の目を楽しませています。5月上旬に開催される「藤まつり」では、さまざまなイベントが行われます。

### 但馬吉野 立雲峽



立雲峽は、標高757メートルの朝来山中腹にあり、山陰随一の桜の名所「但馬吉野」とよばれます。

奈良時代には立雲峽の桜は広く知られていたようで、その最上部には「おおなる池」や「竜神の滝」があるほか、春には樹齢300年ともいわれる老桜が自然美の妙をきわめて咲き誇ります。

養老元年（717）には、突如温泉が湧出し、万病全治の霊泉の出現に遠近からの湯治客が後を絶たず、脱衣庵が建てられ湯治宿舎が軒を並べました。

### 生野高原



海拔600メートルの雄大な高原で、ふもとはは原川、倉谷川が流れ、溪谷を形成しています。一帯は格好のハイキングコースで、ペンション、ゴルフ場、テニスコートなどがあり、保養地として最適です。

## 夜久野高原



朝来市と夜久野町にまたがる夜久野高原は、今から30万～40万年前、3度にわたる宝山の噴火時に流れ出た溶岩が冷え固まって基岩となっています。

美しい風景の中には、中世・夜久野合戦の名残である内藤塚や茶堂、石仏群などが存在します。

## 段ヶ峰



山頂までのコースは、見晴らしのいい尾根道や滝登りなど、醍醐味も満点。初心者コースも設定されています。

標高：1,106メートル

## 粟鹿山



朝来群山市立自然公園の主峰で、山頂からは、南に六甲山、北には氷ノ山をはじめとする但馬連山と日本海を一望できます。

標高：962メートル

## 黒川溪谷



延長75.8キロメートル、流域面積596平方キロメートルの市川が源流近くで形成した溪谷。著しく屈曲して流れており「嵌入蛇行(かんにゅうだこう)」とよばれる切断寸前の地形がいくつも連続し、奇景を形成しています。

## 魚ヶ滝



「魚ヶ滝」という名前の由来は、川の中ほどにある大きな岩が、まるで魚が滝を登っている姿に似ているところに由来するといわれます。

夏にはオートキャンプ場でキャンプや川遊びを楽しむ人たちが賑わいます。

## 国指定文化財

名 称	種 別	場 所
竹田城跡	史跡	和田山町竹田
糸井の大カツラ	天然記念物	和田山町竹ノ内
赤淵神社本殿	建造物	和田山町枚田
但馬城ノ山古墳出土品	考古資料	朝来市埋蔵文化財センター
茶すり山古墳	史跡	和田山町筒江
神子畑鉄橋	建造物	佐囊（神子畑）
八代の大ケヤキ	天然記念物	八代（足鹿神社）
兵庫県茶すり山古墳出土品	考古資料	朝来市埋蔵文化財センター
オオサンショウウオ	特別天然記念物	※場所を特定しないもの

## 国選定文化財

名 称	種 別	場 所
生野鉾山及び鉾山町の文化的景観	重要文化的景観	生野町口銀谷、奥銀谷ほか

## 県指定文化財

名 称	種 別
石造宝篋印塔（法宝寺）	建造物
石造九重塔	建造物
石造七重塔（慈照寺）	建造物
石幢（慈照寺）	建造物
大同寺開山堂	建造物
羽淵鉄橋	建造物
旧神子畑鉾山事務舎	建造物
絹本墨画白衣観音図	絵画
絹本著色仏涅槃図	絵画
絹本著色両界曼荼羅図	絵画
絹本著色仏画十二天像	絵画
木造薬師如来坐像	彫刻
金銅菩薩立像	彫刻
鷲原寺石仏群	彫刻
石造阿弥陀如来坐像	彫刻
金蔵寺銅鐘	工芸品

名 称	種 別
鰐口（大林寺）	工芸品
鰐口（日輪寺観音堂）	工芸品
金銅装頭椎太刀	考古資料
春日古墳出土遺物一括	考古資料
銅鏡	考古資料
楽音寺経瓦	考古資料
相撲棧敷（表米神社）	有形民俗文化財
旧井上家住宅 （朝来歴史民俗資料館）	有形民俗文化財
寺内ざんざか踊り	無形民俗文化財
池田古墳	史跡
小丸山古墳	史跡
船宮古墳	史跡
円明寺庭園	名勝
護念寺庭園	名勝
延応寺大ケヤキ	天然記念物
ウツギノヒメハナバチ群生地	天然記念物

## ■ 認定こども園・保育園・学校給食センター・小学校・中学校等

### ● 認定こども園・保育所

名 称	所在地	電話番号
<b>【公 立】</b>		
朝来市立生野こども園	生野町口銀谷546番地	679-3602
朝来市立糸井こども園	和田山町寺内565番地1	675-2644
朝来市立大蔵こども園	和田山町宮田196番地	673-2281
朝来市立東河こども園	和田山町中380番地	672-3257
朝来市立竹田こども園	和田山町竹田592番地1	674-0014
朝来市立中川こども園	桑市99番地	678-0077
朝来市立山口こども園	羽瀨538番地	677-0140
朝来市立駅前保育所(休所中)		
<b>【私 立】</b>		
ひまわりこども園	和田山町和田山372番地1	672-5184
枚田みのり保育園	和田山町枚田1622番地	672-5504
やなせこども園	山東町矢名瀬町772番地	676-2344
あわが保育園	山東町早田222番地	676-3329
照福こども園	山東町溝黒123番地1	676-2347
めばえのにわ保育園	和田山町平野548番地	670-2236

### ● 子育て学習センター

名 称	所在地	電話番号
朝来市生野子育て学習センター	生野町口銀谷418番地4	679-4010
朝来市和田山子育て学習センター	和田山町玉置824番地1	672-6170
朝来市山東子育て学習センター	山東町楽音寺95番地	676-4633
朝来市朝来子育て学習センター	羽瀨390番地	677-0202

### ● 学童クラブ

名 称	所在地	電話番号
<b>【公 立】</b>		
生野学童クラブ てるてるぼうずの会	生野町口銀谷418番地4	679-4010
糸井学童クラブ たんぼぼクラブ	和田山町高生田4番地1	673-3939
大蔵学童クラブ おくらべの会	和田山町宮田210番地	672-2550
和田山学童クラブ めだかの会	和田山町和田山474番地	672-2799
東河学童クラブ つくしんぼクラブ	和田山町中370番地1	672-0378
竹田学童クラブ たけのこクラブ	和田山町安井61番地	674-0029
山東学童クラブ 1・2・3	山東町楽音寺95番地	676-2152
中川学童クラブ ひまわりの会	桑市99番地	678-0567
山口学童クラブ さくらんぼの会	羽瀨390番地	677-0210
<b>【私 立】</b>		
照福放課後児童クラブ くじら組	山東町溝黒123番地1	676-2347
枚田みのり放課後児童クラブ	和田山町枚田1649番地	672-6250

## ●小学校

名 称	所在地	電話番号
朝来市立生野小学校	生野町口銀谷546番地	679-2044
朝来市立糸井小学校	和田山町高生田4番地1	675-2821
朝来市立大蔵小学校	和田山町宮田210番地	673-2800
朝来市立枚田小学校	和田山町和田山474番地	672-2049
朝来市立東河小学校	和田山町東和田505番地1	672-2084
朝来市立竹田小学校	和田山町安井61番地	674-2644
朝来市立梁瀬小学校	山東町末歳688番地	676-2014
朝来市立中川小学校	桑市99番地	678-0007
朝来市立山口小学校	羽瀨565番地2	677-0040

## ●中学校

名 称	所在地	電話番号
朝来市立生野中学校	生野町真弓10番地1	679-3063
朝来市立和田山中学校	和田山町柳原90番地	672-3351
朝来市立梁瀬中学校	山東町楽音寺159番地	676-2041
朝来市立朝来中学校	新井92番地	677-0527
生野学園中学校	生野町栢原28番地2	679-3451

## ●学校給食センター

名 称	所在地	電話番号
朝来市学校給食センター	和田山町枚田649番地1	672-2801

## ●埋蔵文化財センター

名 称	所在地	電話番号
朝来市埋蔵文化財センター	山東町大月字北山91番地2	670-7330

## ●高等学校

名 称	所在地	電話番号
兵庫県立生野高等学校	生野町真弓432番地1	679-3123
兵庫県立和田山高等学校	和田山町枚田岡376番地1	672-3269
兵庫県立和田山特別支援学校	和田山町竹田1987番地1	674-0214
生野学園高等学校	生野町栢原28番地2	679-3451

## ●兵庫県教育委員会 教育機関

名 称	所在地	電話番号
兵庫県立南但馬自然学校	山東町迫間189番地	676-4730
兵庫県立但馬やまびこの郷	山東町森45番地101	676-4724



## 教育・文化・体育施設

名称	所在地	電話番号
朝来市生野生涯学習センター	生野町口銀谷791番地1	679-3544
朝来市生野書院	生野町口銀谷356番地	679-4336
朝来市生野メインホール	生野町口銀谷549番地	679-4500
朝来市生野交流館	生野町真弓491番地1	679-2712
朝来市生野体育館	生野町真弓12番地	
朝来市奥銀谷体育館	生野町奥銀谷1438番地1	
朝来市栃原体育館	生野町栃原562番地	
朝来市八王子グラウンド	生野町口銀谷2401番地1	
朝来市生野ローンボールコート	生野町口銀谷23番地2	
朝来市生野ゲートボール広場	生野町竹原野250番地1	
朝来市栃原運動広場	生野町栃原1699番地	
朝来市和田山生涯学習センター	和田山町玉置824番地1	672-0188
朝来市和田山ジューピターホール	和田山町玉置877番地1	672-1000
朝来市和田山郷土歴史館	和田山町寺内123番地	675-2928
朝来市和田山図書館	和田山町玉置861番地	672-1700
朝来市枚田岡会館	和田山町枚田岡475番地	672-3287
朝来市多世代交流センター	和田山町土田112番地1	672-4433
朝来市室尾野外活動センター	和田山町室尾28番地	
朝来市和田山体育センター	和田山町玉置87番地	672-3845
朝来市和田山武道館	和田山町玉置87番地	672-3845
朝来市秋葉台テニス場	和田山町秋葉台4番地108	
朝来市和田山スポーツ公園グラウンド	和田山町玉置47番地2	
朝来市和田山屋内ゲートボール場	和田山町土田1088番地	
朝来市筒江農村広場	和田山町筒江100番地	
朝来市寺内すこやかひろば	和田山町寺内561番地	
茶すり山古墳学習館	和田山町筒江79番地1	
朝来市山東生涯学習センター	山東町楽音寺95番地	670-7300
朝来市さんとう緑風ホール	山東町楽音寺118番地	676-2080
朝来市山東野外活動施設「さんとうアウトドアビレッジ」	山東町粟鹿1781番地	676-4100(自然の家)
西宮市立山東自然の家	山東町粟鹿2179番地	676-4100
朝来市山東体育館	山東町末歳710番地1	
朝来市与布土体育館	山東町溝黒411番地	
朝来市粟鹿体育館	山東町粟鹿873番地	
朝来市山東農村広場	山東町粟鹿147番地2	676-4100(自然の家)
朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」	山東町大月91番地2	670-7330
朝来市朝来生涯学習センター	新井73番地1	677-2112
朝来市あさご・ささゆりホール	新井73番地1	677-2112
朝来市朝来歴史民俗資料館	多々良木722番地9	
朝来市あさご森の図書館	新井194番地	670-4710
朝来市あさご芸術の森美術館	多々良木739番地3	670-4111
朝来市旧神子畑鉱山事務舎「ムーセハウス写真館」	佐囊1826番地1	677-1717
朝来市朝来福祉会館	伊由市場178番地	678-0243
朝来市朝来体育館	立脇20番地1	
朝来市朝来グラウンド	立脇25番地1	
朝来市あさごふれあいプール「くじら」	新井172番地	670-4700

朝来市教育委員会事務局(朝来市役所本庁舎 4階)

所在地：〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213番地1  
<http://www.city.asago.hyogo.jp/>

- ・学校教育課 672-4930
- ・こども育成課 672-4933
- } FAX 672-4934
- 672-4931

---

- ・文化財課 670-7330
- ・学校給食センター 672-2801

あさごっ子  
 悩み相談センター  
 (学校教育課内)

朝来市こども  
 教育支援センター  
 (教育委員会内)

本庁舎 〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213番地1  
 生野庁舎 〒679-3392 兵庫県朝来市生野町口銀谷791番地1  
 山東庁舎 〒669-5192 兵庫県朝来市山東町楽音寺95番地  
 朝来庁舎 〒679-3431 兵庫県朝来市新井73番地1

TEL 079(672)3301 代表 FAX 079(672)4041  
 TEL 079(679)2240 代表 FAX 079(679)4638  
 TEL 079(676)2080 代表 FAX 079(676)2696  
 TEL 079(677)1165 代表 FAX 079(677)1513

